SONY

4-670-644-01 (1)

はじめにお読みください

取扱説明書

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

PEG-NZ90

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Bluetooth™

はじめに

この冊子では、本機を使い始めるまでの準備や、本機でできることを紹介しています。

この冊子とあわせてご覧ください。

クリエ読本

- はじめてのクリエ
  基本的な使いかたを詳しく説明しています。
- クリエ活用編
  クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。

クリエ アプリケーションマニュアル
（HTML 形式：パソコン上で動作）

本機に付属するアプリケーションの使いかたを詳しく説明しています。
使いかたはこの冊子の「「クリエ アプリケーションマニュアル」の使いかた」（95 ページ）をご覧ください。

困ったときは Q&A

本機を使っていて困ったときの対処の方法を説明しています。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

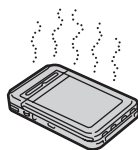
安全のための注意事項を守る

7 ～ 15 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

1. **電源を切る**
2. **ACアダプターや接続ケーブルを抜く**
3. **バッテリを取りはずす**
4. **ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）に修理を依頼する**

データはバックアップをとる

メモリ内の記録内容は、パソコンとHotSyncをして、常にバックアップをとって保存してください＊。トラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

充電せずに長期間放置した場合、お買い上げ後に本機に記録したデータの一部が消去されることがあります。

* 一部バックアップできない記録内容があります。詳しくは 112 ページの「HotSyncによるバックアップ」をご覧ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Sony、SONY、クリエ、CLIé、"Memory Stick"（"メモリースティック"）、MEMORY STICK™、"Magic Gate"（"マジックゲート"）、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"（"マジックゲートメモリースティック"）、、PictureGear Studio はソニー株式会社の商標です。
- FeliCa はソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSync は Palm, Inc. またはその子会社の米国及びその他の国における登録商標であり、Palm、Palm Powered、Palm Desktop、Palm のロゴ、Palm Powered のロゴ、HotSync のロゴ、PalmOS5 のロゴは Palm, Inc. またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® および Acrobat® は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Bluetooth は、その権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- Intellisync は米国 Pumatech, Inc. の米国、およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- QuickTime,QuickTime のロゴは AppleComputer,Inc, の商標です。
- The software library incorporated in CLIE handheld is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Contains Macromedia® Flash™ Player technology by Macromedia, Inc.,
  Copyright© 1995-2001 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia, Flash and Macromedia Flash are trademarks or registered trademarks of Macromedia, Inc. in the United States and internationally.
- NetFront は、株式会社 ACCESS の日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Picsel および Picsel ロゴは Picsel 社の商標です。
- P-in m@ster、P-in Comp@ct は NTT ドコモの商標です。
- AirH"、H"、H"LINK、C@rdH" 64 は DDI ポケット（株）の登録商標です。
- Suica は JR 東日本の登録商標です。
- Edy はビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

本製品のソフトウェアをお使いになる前に、必ず付属のソフトウェア使用許諾書をお読みください。
付属の「ATOK」をお使いになる前に、必ず別冊「クリエ読本」巻末に記載されている「ATOK 使用許諾契約書」をお読みください。

□ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
□ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
□ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名:PEG-NZ90
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機の裏面にある証明番号を消すこと

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.400 GHz から 2.4835 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の Bluetooth 機能使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ネットコミュニケーション カスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

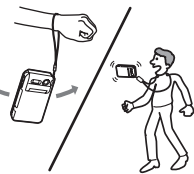
この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 20 m です。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップ、ネックストラップをご使用の場合は、本体を振り回さないようにご注意ください。本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりすると故障やけがの原因となります。持ち運ぶ際には手で押さえるか、ポケットに入れるなどして本体を固定してください。

自動車内の運転者に向けてフラッシュを使用しない

運転者に向けてフラッシュを使用すると目がくらみ、運転不可能になり、事故を起こす
原因になりますので、使用しないでください。

可燃性／爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれがある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

付属の AC アダプターおよびソニー製の本機に対応した電源以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと**健康を害する**おそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイを見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

長時間使いすぎない

- 長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
  使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。
- ヘッドホンを使用中、肌にあわないと感じたときは早めに使用を中止して医師に相談してください。

下記の注意事項を守らないと**けが**や**視力障害**を起こしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

フラッシュを至近距離で人に向けない。

フラッシュを人の目の前（特に乳幼児）に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには 1m 以上離れてください。

本機の Bluetooth 機能は国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本機のBluetooth機能を使用した場合罰せられることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、故障の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）にご相談ください。そのままパソコンに接続すると、パソコンの故障の原因にもなることがあります。

分解しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、故障の原因となることがあります。内部の点検、修理はネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）にご依頼ください。

ぬれた手で AC アダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

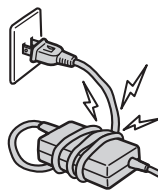
接続コードなどを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、AC アダプターコードをコンセントから抜いてください。故障の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないとけがや視力障害を起こしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

指定された接続コードを使う

取扱説明書に記されている接続コードを使わないと、故障の原因となることがあります。

AC アダプターコードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

通電中の本体や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

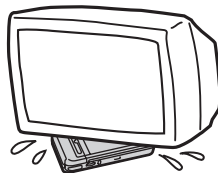
本体や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って AC アダプターを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、故障の原因となることがあります。

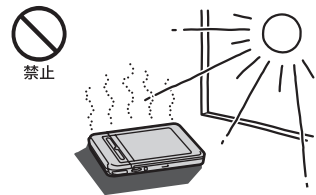
コネクタはきちんと接続する

- コネクタに金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときは AC アダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

車内など直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

画面（表示部）はガラスでできています。本体をひねる、落とす、本体に肘をつく、重いものを載せるなどすると、割れてけがの原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないとけがや視力障害を起こしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

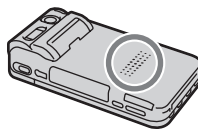
硬い物質で液晶画面を操作したり、強打しない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

クレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけない

本体背面に、内蔵スピーカー用の磁石が入っています。この付近にクレジットカードや定期券を近づけると、カードなどの記録に影響を与えるおそれがあります。

雷が鳴り出したら、接続コードや AC アダプターに触れない

感電の原因になります。

AC アダプターを水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。

通信カードを外す場合は、必ず電源を切った状態で行う
通信カード着脱時は、無理な力を加えない

航空機内で通信機能は使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

医療機器の近くで通信機能は使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

通信機能を使用している場合、心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離すこと

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは通信機能は使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

自動車内では通信機能の使用に注意する

まれに車種により車両電子機器に影響を与える場合があります。自動車内でご使用になる場合はご注意ください。

通信機器を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、通信機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

Bluetooth 機能の使用を中止させるには

本機の電源を切ってください。（37 ページ）

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 水にぬらさないでください。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 本体に衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 本体から漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

充電池のリサイクルについて

付属のバッテリーパック（リチウムイオン電池）は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/）を参照してください。

本体を破棄する場合は、下記の手順に従って充電池をリサイクルしてください。
電池の交換はネットコミュニケーションカスタマーリンクへお申し出ください。
電池交換の場合は、電池を取りはずしておく必要はありません。

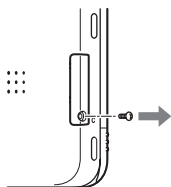
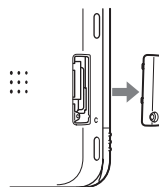
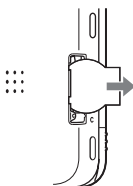
バッテリーパック（リチウムイオン電池）の取りはずしかた

27 ページの「バッテリを取りはずす」に従って、取りはずしてください。

充電式ボタン電池を廃棄する場合は

- 地方自治体の条例等に従ってください
- 一般ゴミに混ぜて捨てないでください。

充電式ボタン電池の取りはずしかた

1 プラス（＋）ドライバーで、本機の側面にあるネジをはずす。

2 電池カバーのふたを取りはずす。

3 ボタン電池に付いているリボンを引っぱりながら、ボタン電池を取り出す。

4 ボタン電池をを引っ張って、本機から抜き取る。

目次

取扱説明書についてのご注意

- 付属のソフトウェアは、この冊子の画面と一部異なる場合があります。
- この冊子は、お客様が Windows の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

液晶ディスプレイおよびレンズについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
液晶ディスプレイやレンズを太陽にむけたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

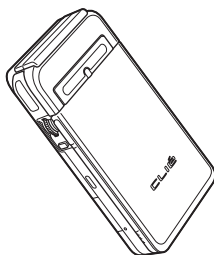
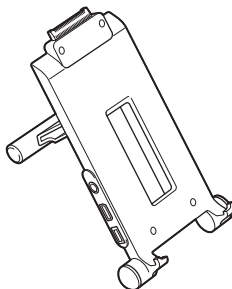
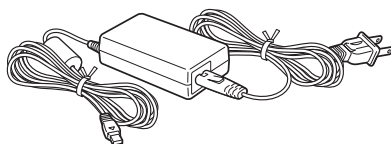
本機を使用中、不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合がありますのでご注意ください。

箱の中身を確認する

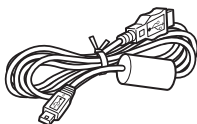
まずはじめに、箱の中身を確認しましょう。

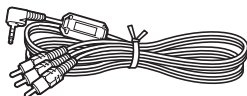
●本体（1 台）

●クレードル（1 台）

●AC アダプター（1 式）

●ヘッドホン（1 式）

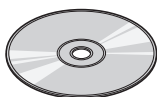
●スタイラス（1 本）

工場出荷時に本体に取り付けてあります。

●オーディオリモコン（1 式）

●USB ケーブル(1 本)

●プリンター接続ケーブル(1 本)

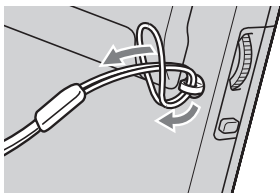
● AV ケーブル(1 本)

●バッテリーパック(1 個)

●インストール CD-ROM(1 枚)

●ハンドストラップ(1 個)
取り付けかたは下記をご覧ください。

●ダミーカード(1 枚)
工場出荷時に本体に取り付けてあります。

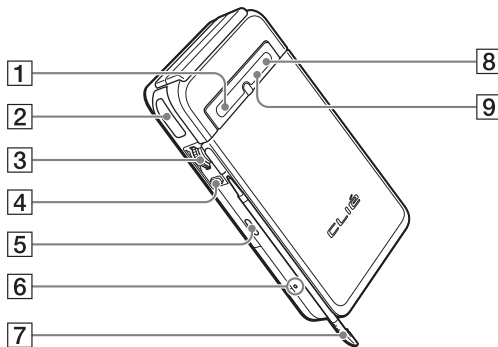
●はじめにお読みください ー 取扱説明書(1 冊、この冊子)
●クリエ読本(1 冊)
●困ったときは Q&A(1 冊)
●カスタマー登録のご案内(1 枚)
●カスタマー登録はがき(保証書)
●Graffiti シール(1 枚)
●ソフトウェア使用許諾書(1 枚)
●クリエ サービス・サポートのご案内(1 枚)
●クリエカルテ(1 部)
●その他印刷物一式

万が一、不足しているものがございましたら、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)またはお買い上げ店にご相談ください。

ハンドストラップの取り付けかた

各部のなまえ

本体や主な付属品の各部のなまえを説明しています。

本体

前面

1 POWER LED（パワー エル イー ディー）（38 ページ）

2 赤外線通信ポート（41 ページ）

3 ジョグダイヤル（36 ページ）

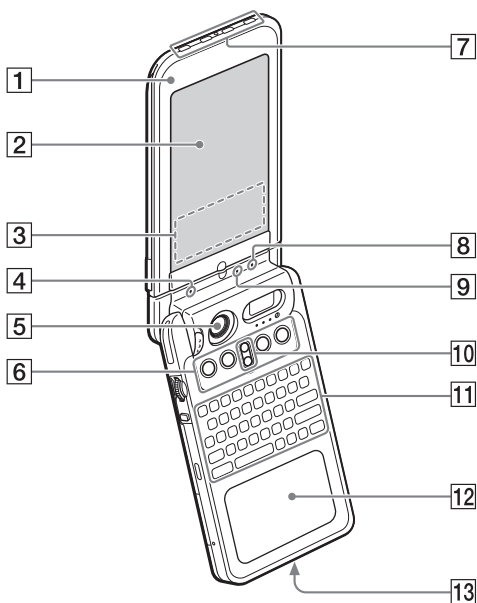
4 BACK（バック）ボタン（40 ページ）

5 VOICE REC（ボイス レック）ボタン（39、80 ページ）

6 RESET（リセット）ボタン（46 ページ）

7 スタイラス（35 ページ）

8 Bluetooth（ブルートゥース）ランプ（90 ページ）

9 “メモリースティック”ランプ（42 ページ）

1 ディスプレイパネル（23 ページ）

2 画面（49 ページ）

3 Graffiti（グラフィティ）入力エリア（49 ページ）

4 POWER LED（パワー エル イー ディー）（38 ページ）

5 カメラレンズカバー（39 ページ）

6 アプリケーションボタン（55 ページ）

7 アプリケーションボタン（55 ページ）
ターンスタイル時のみ有効です。

8 Bluetooth（ブルートゥース）ランプ（90 ページ）

9 “メモリースティック”ランプ（42 ページ）

10 スクロールボタン（41 ページ）

11 ハードウェアキーボード（43 ページ）

12 FeliCa（フェリカ）リーダー部（94 ページ）

13 通信用カードスロット（44 ページ）

次のページにつづく

後面

1 マイク（80 ページ）

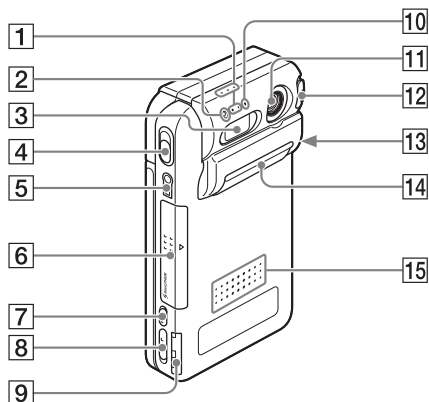
2 フラッシュ調光窓

3 フラッシュ（64 ページ）

4 CAPTURE（キャプチャー）ボタン（38、57、59、68 ページ）

5 ヘッドホンジャック（81 ページ）

6 バッテリ蓋（26 ページ）

7 HOLD（ホールド）スイッチ（40 ページ）

8 POWER（パワー）スイッチ（37 ページ）

9 "メモリースティック"スロット（41 ページ）

10 REC LED（レックエルイーディー）（39 ページ）

11 カメラレンズ（39 ページ）

12 レンズカバーレバー（39 ページ）

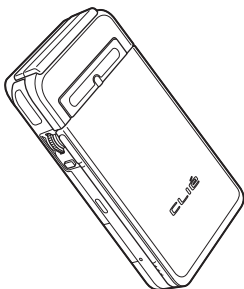
13 ハンドストラップ取り付け金具（19 ページ）

14 インターフェースコネクタカバー（29 ページ）

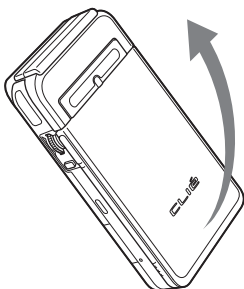
15 スピーカー（51 ページ）

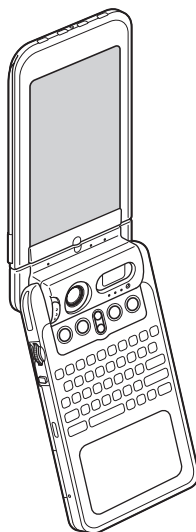
本機のスタイルについて

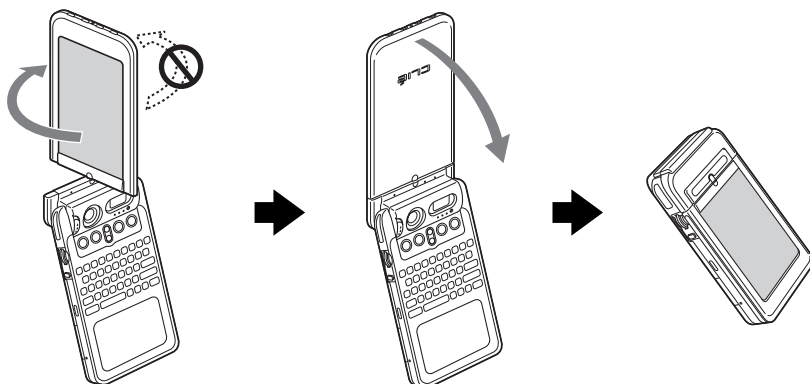
本機は 3 種類の「スタイル」にすることができます。

クローズスタイル

ディスプレイパネルを閉じたスタイル。
持ち運ぶときに画面を傷などから保護できます。

オープンスタイル

ハードウェアキーボードを使った文字入力や、カメラで自分撮りを行いたいときなどに使用するスタイル。

ディスプレイパネルをカチッというまで開く。

次のページにつづく

ターンスタイル

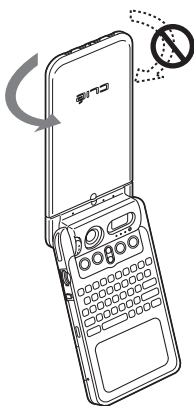
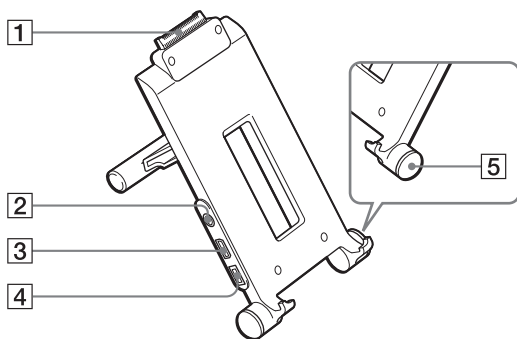
オープンスタイルよりもコンパクトになるので、主にスタイラスを使って操作したり、カメラとして使うときなどに便利なスタイル。

オープンスタイルの状態から、ディスプレイパネルを図の矢印のように回して裏返す

画面を上にして、ディスプレイパネルを閉じる

ご注意

ディスプレイパネルを、指示された方向以外に回したり、強い力を加えたりしないでください。

ディスプレイパネルを閉じるとき

ディスプレイパネルを、図の矢印のように回して、閉じてください。

クレードル

1 **インターフェースコネクタ（29 ページ）**

2 **AV 出力端子**

付属の AV ケーブルを接続して、「CLIE Album」の画面を TV で見ることができます。（99 ページ）

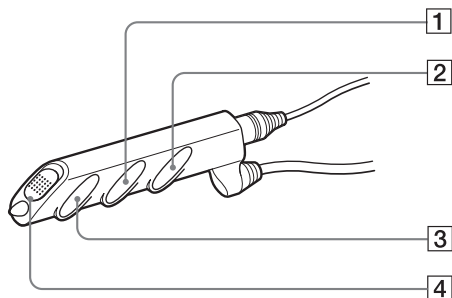
3 **USB ケーブル接続コネクタ**

付属の USB ケーブルを接続して、パソコンと接続します。（74 ページ）
「CLIE Album」や「CLIE Viewer」の画面をプリンターで出力する場合は、付属のプリンター接続ケーブルを接続します。

4 **AC アダプター接続コネクタ（28 ページ）**

5 **HotSync（ホットシンク）ボタン（75、77 ページ）**

付属オーディオリモコン

「Audio Player」や「Movie Player」などで、音楽や音声付き動画を再生するときに使います。

1 **⏮/⏭ ボタン**

2 **音量調節ボタン**

3 **▶/■ ボタン**

4 **HOLD（ホールド）スイッチ**

➡**アプリケーションごとの操作について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

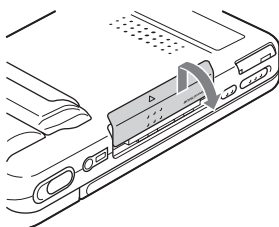
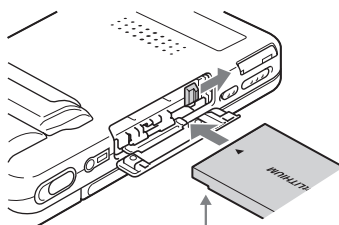
クリエを充電する

本機をはじめて使うときは、付属のバッテリーパックを本機に挿入し、必ず充電してください。

❶ バッテリを入れる／交換する

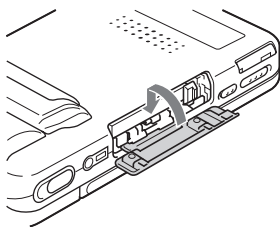
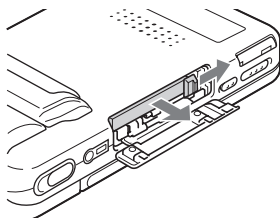
バッテリ交換時は必ずクリエの電源を切り、POWER LED や“メモリースティック”ランプが消えている事を確認してから、バッテリ蓋を開いてください。
電源が切れていない状態でバッテリ蓋を開くと、本機に記録したデータや、“メモリースティック”に記録途中のデータが失われる可能性があります。

1 バッテリ蓋を開く。

2 バッテリを入れる。

バッテリの先端で、バッテリ取りはずしつまみを押しながらバッテリを入れると、簡単に入ります。

バッテリの端子をディスプレイパネル側にして入れる

3 バッテリ蓋を閉じる。

バッテリが奥まで確実に入ったことを確かめて
からバッテリ蓋を閉じてください。

バッテリを取りはずす

バッテリ取りはずしつまみを矢印の方向に押して、バッテリを取り出します。

ヒント

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や本機のメモリーの内容を電池交換時に保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、バッテリ交換もしくはバッテリ残量がなくなってしまうと徐々に放電し、12 時間程度で完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。

充電方法

バッテリーパックを本機に入れた状態でクレードルにのせるか、充電されたバッテリーパックを挿入した状態で、電源を切ったまま 24 時間以上放置してください。

次のページにつづく

バッテリーパックについて

■ 付属のバッテリーパックは

「スマートリチウム」機能を搭載してます。
本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムバッテリです。
本機で使用状況に応じた計算を行いバッテリ残量を分単位で表示します（50 ページ）。

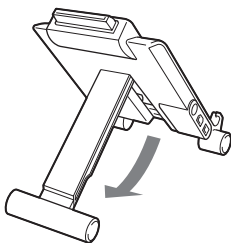
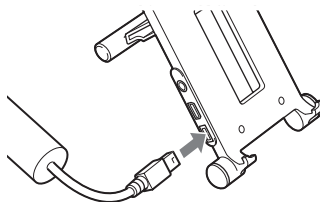
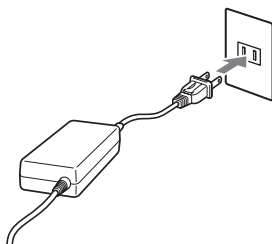
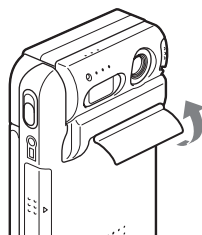
■ バッテリの残量表示について

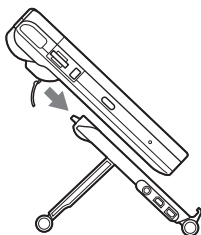
バッテリの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量表示が正しく表示されます。
ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリは正しい表示に戻らない事があります。

■ バッテリの寿命について

バッテリには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しい物をご購入ください。
寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

❷ バッテリを充電する

1 クレードルの足を出す。

2 ACアダプターをクレードルにつなぐ。

3 AC アダプターのプラグをコンセントに挿す。

4 本機のインターフェースコネクタカバーを開ける。

5 本機を斜めに挿すようにして、クレードルに取り付ける。

本機をクレードルに取り付けると、本体の
POWER LED が点灯して、充電が始まります。

初回の充電は約 4 時間で終了します。
充電が終わると、本体の POWER LED が消灯します。

ヒント

毎日こまめに充電すれば、充電は短時間で終了します。

ご注意

- 充電をしないで放置し、バッテリの残量がなくなると、お買い上げ後に本機に記録したデータは消去されます。
- 本体をクレードルに取り付けるときは、本体の POWER LED が点灯するまでしっかり取り付けてください。
- 本体をクレードルから取り外すときは、クレードルの足を押さえて取りはずしてください。

最初の設定を行う

クリエの電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、クリエの操作に慣れていきましょう。

1 POWER スイッチをスライドさせる

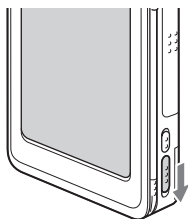
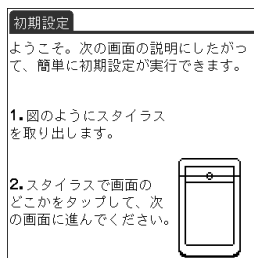
電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

POWER スイッチをスライドさせる

初期設定

ようこそ。次の画面の説明にしたがって、簡単に初期設定が実行できます。

1. 図のようにスタイラスを取り出します。

2. スタイラスで画面のどこかをタップして、次の画面に進んでください。

ヒント

電源が入らない場合は

- HOLD スイッチ（40 ページ）が HOLD 状態になっていませんか？
- 26 ページの手順に従ってクリエを充電しましたか？

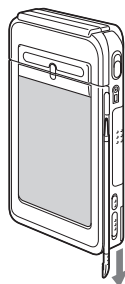
➡**詳しくは、**別冊「困ったときは Q&A」をご覧ください。

- 充電しても電源が入らないときは、ソフトリセット（46 ページ）を行ってください。

2 スタイラスを取り出す。

文字を入力したり実行したいアプリケーションを指定したりするために、付属の**スタイラス**を使います。

スタイラスを
取り出す

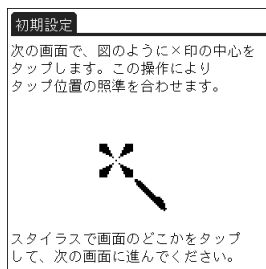
ご注意

- 付属のスタイラス以外のものを使うと、クリエの画面を傷つけてしまうことがあります。
- スタイラスを取り付けるときは、カチッというまでしっかり差し込んでください。

3 スタイラスで画面を軽く押す。

この操作を**タップする**と言います。
タップした場所のずれを補正するための、「初期設定」画面が表示されます。

初期設定

次の画面で、図のように×印の中心をタップします。この操作によりタップ位置の照準を合わせます。

スタイラスで画面のどこかをタップして、次の画面に進んでください。

4 画面の指示に従って、表示されたマークの中心をタップする。

引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

ご注意

正確に調整しないと、うまく操作できない原因となります。あとから調整をやり直したいときは、別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定):入力位置を調整する(デジタイザ)」をご覧ください。

調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

次のページにつづく

5 [現在の時刻]の枠で囲まれている部分をタップする。

「時刻の設定」画面が表示されます。

ヒント

あとで再び日付や時刻を変更したい場合は「環境設定」から設定します。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

6 ▲または▼をタップして、現在の時刻に合わせる。

それぞれの枠をタップして、時間と分表示を合わせます。

7 [OK]をタップする。

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

8 [今日の日付]の枠で囲まれている部分をタップする。

「日付の設定」画面が表示されます。

9 一番上の西暦の横の◀または▶をタップして、西暦を合わせる。

10 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

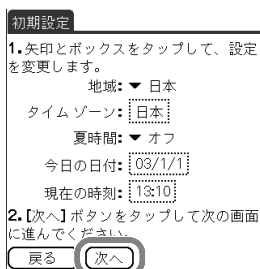
11 [タイム ゾーン]の枠で囲まれている部分をタップする。

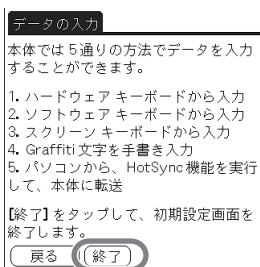
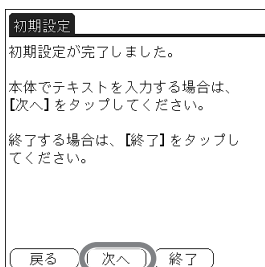
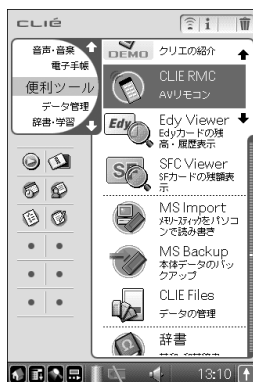
「タイム ゾーンの設定」画面が表示されます。

12 地域名をタップしてタイム ゾーンを選び、[OK]をタップする。

13 [夏時間]の横の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

最初の設定を行う

次のページにつづく

14 [次へ]をタップする。

15 [次へ]をタップして、[終了]をタップする。

初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

これで初期設定が終わりました。

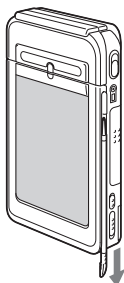
クリエの基本操作

アプリケーションの起動や文字の入力など、クリエの操作方法を覚えましょう。

基本的な操作方法

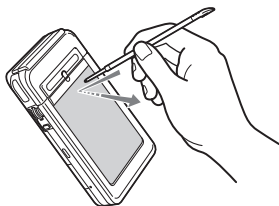
スタイラスの使いかた

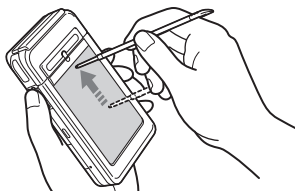
本機は、付属のスタイラスを使って文字を入力したり、アプリケーションを実行します。

スタイラスを取り出す

スタイラスは本機のディスプレイパネル側面に収納されています。

ご注意

紛失してしまわないように、使い終わったら本機に収納しましょう。

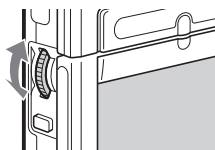
タップする

スタイラスで画面を軽く押す操作を「タップ」と呼びます。

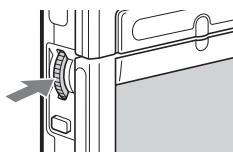
次のページにつづく

ドラッグする

パソコンでアイコンをドラッグするのと同じように、本機でもスタイラスを軽くあてたまま画面をなぞることで、「ドラッグ」することができます。

ジョグダイヤルの使いかた

本機には、ジョグダイヤルがついています。
本機はジョグダイヤルだけで主な操作を行うことができるように設計されていますので、片手で持ったまま、スタイラスなしで操作することもできます。

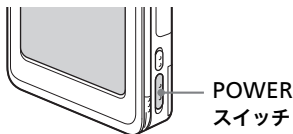
ジョグダイヤルを回す

いろいろな項目を選択したり、起動するアプリケーションを選択します。

ジョグダイヤルを押す

ジョグダイヤルを回して選択した項目を確定したり、アプリケーションを実行します。

ジョグダイヤルを押しながら回す

一部のアプリケーションでは、ジョグダイヤルを押しながら回すことで操作できる機能があります。

各部のはたらき

POWER（パワー）スイッチ

電源を入れる

本機の POWER スイッチをスライドさせる
本機の電源が入り前回電源を切るときに表示されていた画面が表示されます。本機の電源が入っているときは、POWER LED（38 ページ）が緑色で点灯します。

ヒント
はじめて電源を入れたときは、「初期設定」画面が表示されます。（30 ページ）

ご注意
電源が入らないときは、HOLD スイッチが HOLD 状態になっていないかどうか確認してください。
HOLD 状態で電源を入れようとすると、POWER LED が緑色で３回点滅します。

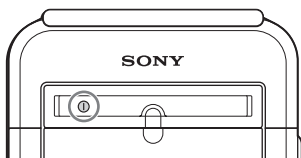
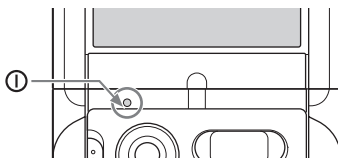
電源を切るには

電源を切るときも、本機の POWER スイッチをスライドさせます。

ヒント
パソコンと異なり、データの保存やアプリケーションの終了などといった電源を切るための処理は必要ありません。

POWER スイッチを 2 秒以上スライドさせると

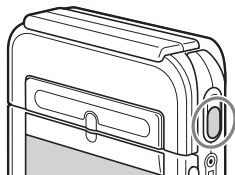
液晶画面のバックライトを入／切できます。

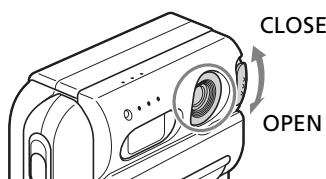
パワー エル イー ディー
POWER LED

クローズスタイル
ターンスタイル

オープンスタイル

点灯する色で、本機の状態を知らせます。

LED の状態	本機の状態
緑色で点灯	電源が入っています。
オレンジ色で点灯	充電中です。
オレンジ色で点滅	「予定表」などでアラーム機能を使っているときに、アラーム時刻になったことをお知らせします。
緑色で点滅（3 回）	HOLD スイッチが HOLD 状態になっています。（電源を入れようとした場合に点滅します）
消灯	電源が切れています。

キャプチャー
CAPTURE ボタン

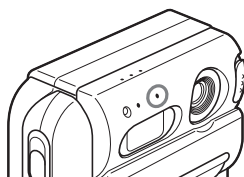
ボタンを押すと、静止画や動画の撮影を開始します。

➡**詳しくは、**57 ページからの「静止画／動画を撮影する」をご覧ください。

カメラ

静止画や動画の撮影に使います。

ご注意

カメラを使わないときは、レンズカバーレバーを「CLOSE」方向に動かして、レンズカバーを閉じてください。

➡**詳しくは、**57 ページからの「静止画／動画を撮影する」をご覧ください。

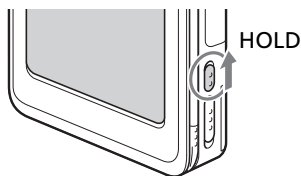
REC LED（レック エルイーディー）

動画撮影中または音声メモ録音中に点灯します。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」で各アプリケーションの説明をご覧ください。

VOICE REC（ボイス レック）ボタン

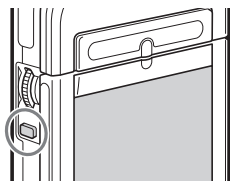
ボタンを押すと、音声の録音を開始します。

➡**詳しくは、**「ボイスレコーダーを使う」(80 ページ)をご覧ください。

ホールド
HOLD スイッチ

誤ってボタンが押されたり、画面がタップされることを防ぎます。電源が入った状態で HOLD スイッチをスライドして HOLD 状態にすると、本機が動作中でも画面が消えます。

ご注意

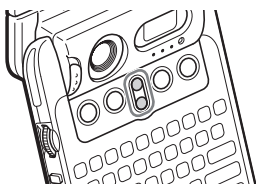
電源が入らないときなど、本機を操作できないときは、HOLD スイッチが HOLD 状態になっていないかどうか確認してください。
HOLD 状態で電源を入れようとすると、POWER LED が緑色で３回点滅します。

バック
BACK ボタン

項目を選択解除したり、操作を取り消します。また、アプリケーションによっては、前の画面に戻るなどの独自の機能が割り当てられています。

ヒント

長く押すと、ホーム画面に戻ることができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」で各アプリケーションの説明をご覧ください。

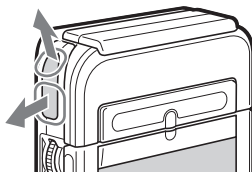
スクロールボタン

画面上に 1 度に表示しきれない情報を見るときに押します。▼ボタンを押すと画面の下に隠れている情報が表示され、▲ボタンを押すと画面の上に隠れている情報が表示されます。また、アプリケーションによって独自の機能が割り当てられています。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」で各アプリケーションの説明をご覧ください。

赤外線通信ポート

赤外線で他のクリエや Palm OS 搭載機器とデータをやり取りできます。

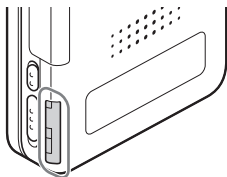
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「赤外線通信機能を使う」をご覧ください。

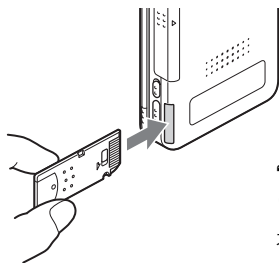
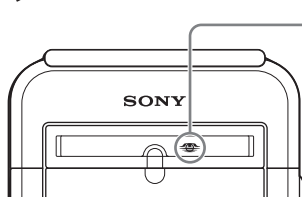
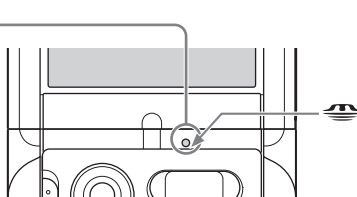
リモコンとして使う場合は, この方向に向けてください。
※最適な通信位置は、少しずつ向きを変えてお試しください。

赤外線通信機能を使う場合は、この方向に向けてください。

ヒント

「CLIE Remote Commander」により、クリエをリモコンとして使うこともできます。

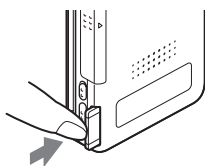
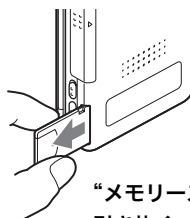
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

“メモリースティック”スロット

“メモリースティック”を挿入します。
“メモリースティック”内のデータを読み書きしているときは、“メモリースティック”ランプがオレンジ色に点滅します。

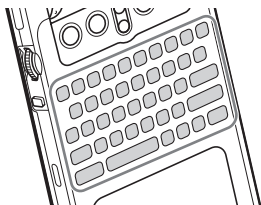
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「“メモリースティック”を使う」をご覧ください。

次のページにつづく

“メモリースティック”を入れる

ご注意

- “メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、スロットが破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”は“メモリースティック”スロット以外の場所へ入れないでください。

“メモリースティック”を取り出す

ご注意

“メモリースティック”へのデータの書き込みやデータの読み出しを行っていないこと（“メモリースティック”ランプが点滅していないこと）を確認してから“メモリースティック”を押し込んでください。“メモリースティック”ランプが点滅中に“メモリースティック”を取り出した場合、記録されたデータが消えたり壊れたりすることがあります。

ハードウェアキーボード

パソコンのキーボードと同様の操作で文字を入力します。大量の文字を入力するときに便利です。

入力コマンド一覧

下記のキーを組み合わせることでハードウェアキーボードの機能を拡張できます。

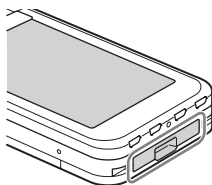
キー操作の表記

例:Ctrl + C → Ctrl キーを押しながら C を押す。

操作	機能
Fn + 青文字キー	青い表示の数字や記号を入力します。
Alt + 赤文字キー	赤い表示の機能を実行します。
Shift + アルファベットキー（Caps OFF のとき）	アルファベットの大文字を入力します。
Shift + アルファベットキー（Caps ON のとき）	アルファベットの小文字を入力します。
Shift + ▶／◀	文字列を選択します。
Shift + Ctrl + ◀	文字列を先頭まで選択します。
Shift + Ctrl + ▶	文字列を最後まで選択します。
Ctrl + C	選択した文字列をコピーします。
Ctrl + X	選択した文字列を切り取ります。
Ctrl + V	選択した文字列を貼り付けます。
Ctrl + D	選択した文字列を消去します。
Ctrl + L	バックライトを On/Off します。
Ctrl + H	ホーム画面に戻ります。
Ctrl + M	メニューを表示します。
Ctrl + F	文字を検索します。

次のページにつづく

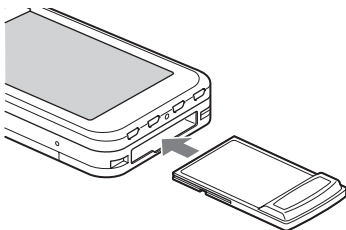
操作	機能
Ctrl + ▲	ジョグダイヤルを上方向に回すのと同じ操作です。
Ctrl + ▼	ジョグダイヤルを下方向に回すのと同じ操作です。
Ctrl + **決定**	ジョグダイヤルを押すのと同じ操作です。
Ctrl + **決定（長押し）**	ジョグダイヤルを長押しするのと同じ操作です。
Ctrl + BS	BACK ボタンを押すのと同じ操作です。
Ctrl + BS**（長押し）**	BACK ボタンを長押しするのと同じ操作です。
Ctrl + Shift + ▲	ジョグダイヤルを押しながら上に回すのと同じ操作です。
Ctrl + Shift + ▼	ジョグダイヤルを押しながら下に回すのと同じ操作です。
Ctrl + Tab	次のフィールドへ移動します。
Ctrl + Shift + Tab	前のフィールドへ移動します。

通信用カードスロット

市販のコンパクトフラッシュ型データ通信カード（以下、通信カード）を使用して、インターネットへ接続できます。

➡**詳しくは、**「インターネットに接続する」（87 ページ）をご覧ください。
➡**動作確認済みカードについて詳しくは、**「主な仕様：動作確認済みカード」（124 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機の通信用カードスロットは、コンパクトフラッシュ型データ通信カード専用です。上記以外の通信カードやメモリーカード等には対応しておりません。故障の原因となるおそれがありますので、本機では非対応カードを使用しないでください。
- 本機の動作が不安定になった場合は、1 度通信カードを取りはずし、再度通信カードを挿入してください。
- お使いの通信カードおよびプロバイダによっては、ご利用になれないデータ通信サービスがありますのでご注意ください。詳しくはお使いの通信カードの取扱説明書をご覧になるか、プロバイダへお問い合わせください。

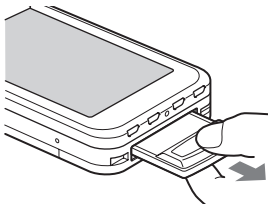
通信カードを入れる

ヒント

工場出荷時は、通信用カードスロットにダミーカードが挿入されています。

ご注意

間違った向きや角度で、無理に通信カードを挿入しないでください。本機が故障するおそれがあります。

通信カードを取り出す

必ず本機の電源を切ってから、通信カードを引き抜いてください。

ご注意

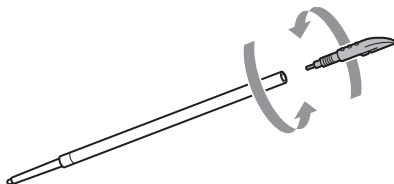
- 通信中に、通信カードを取り出さないでください。故障の原因となります。
- 通信カードを取り出したら、通信用カードスロット保護のため、必ずダミーカードを挿入してください。
- 通信カードを取り出すときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および通信カードが故障するおそれがあります。

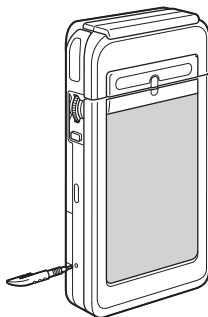
本機を再起動する

通常、本機を再起動（リセット）する必要はありませんが、**電源が入らなくなったり、操作に反応しなくなった場合は、**ソフトリセットを実行し本機を再起動させることで症状を解消できる場合があります。
このような場合は、以下の手順で本機をリセットしてください。

リセットする（ソフトリセット）

ソフトリセットを実行しても、本機に記録したデータはそのまま残ります。

1 スタイラスの上部をねじるように回して、スタイラスピンを取り出す。

2 取り出したピンを使って、RESET ボタンをゆっくりと押す。

実行中の動作が停止して、本機が再起動します。
再起動後は、「palm powered」、「CLIÉ」、「SONY」と画面が表示され、続いて時刻と日付を設定するための「環境設定」画面が表示されます。

ご注意

- ソフトリセットを行うとき、RESET ボタンを押したあと「環境設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に RESET ボタンを押さないでください。
- スタイラスピン以外で、RESET ボタンを押さないでください。故障の原因になる場合があります。

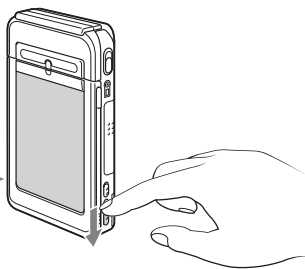
ソフトリセットで再起動しないときは（ハードリセット）

ソフトリセットで問題が解消されない場合は、ハードリセットを実行して本機を再起動する必要があります。

ご注意

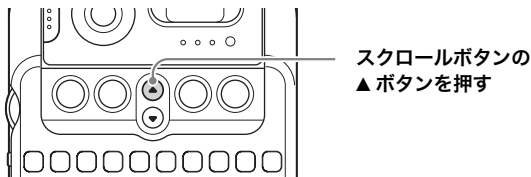
- **ハードリセットを実行するとこれまでに記録したデータや、追加したアプリケーションはすべて消去されます。**
- ソフトリセットではどうしても再起動できない場合などを除いては、ハードリセットは絶対に実行しないでください。
  ただし、HotSync でパソコンにバックアップを取っていれば、次に HotSync したときにパソコン上に保存してあるデータは復元できます。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエのデータをバックアップする」をご覧ください。

1 POWER スイッチをスライドさせる。

2 POWER スイッチをスライドさせたまま、スタイラスピンで RESET ボタンをゆっくりと押して、離す。

3 「palm powered」画面が表示されたら、3 秒ほど待って POWER スイッチから指を離す。

本機に記録したデータがすべて消去されることを示すメッセージが表示されます。

次のページにつづく

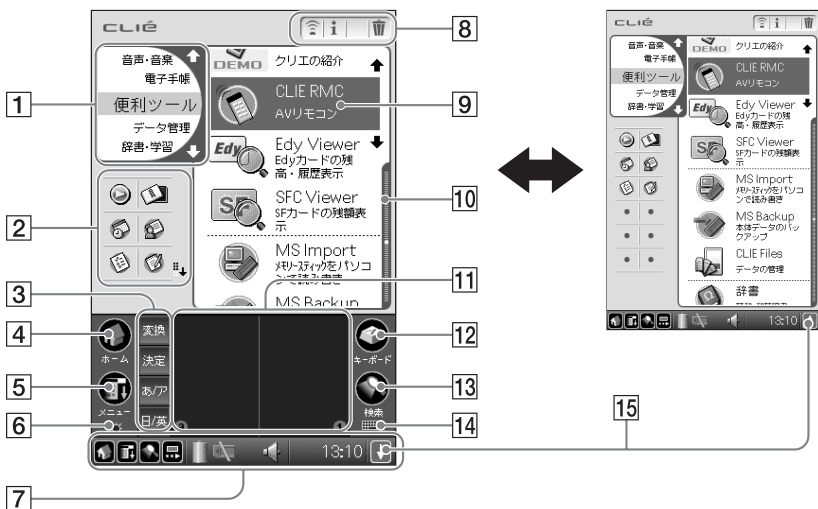
4 スクロールボタンの ▲ ボタンを押す。

本機がハードリセットされます。
再起動後は、「palm powered」、「CLIÉ」、「SONY」と画面が表示され、続いて「初期設定」画面が表示されます。「最初の設定を行う」（30 ページ）の手順に従って、初期設定してください。
ハードリセット実行後も、現在の日付と時刻はそのまま残ります。書式の環境設定などの設定は、出荷時の設定に戻ります。

ご注意

- ハードリセットを行うとき、RESET ボタンを押したあと「初期設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に RESET ボタンを押さないでください。
- スクロールボタンを押す時間が短いと、ハードリセットが実行されない場合があります。

画面の見かた

ヒント

違う画面が表示されているときは「4 ホームアイコン」をタップしてください。

1 **CLIE Launcher グループ一覧**
CLIE Launcher グループの一覧が表示されます。

2 **よく使うアプリケーション（ショートカット）**
よく使うアプリケーションを登録できます。

3 **文字入力アイコン（51 ページ）**

4 **ホームアイコン**
タップすると、ホーム（アプリケーション一覧）画面が表示されます。

5 **メニューアイコン**
タップすると、現在のアプリケーションのメニューが表示されます。

6 **明るさ調節アイコン（52 ページ）**

7 **ステータスバー（50 ページ）**

8 **編集操作アイコン（52 ページ）**

9 **アプリケーションアイコン（54 ページ）**

10 **ポジションインジケーター**

11 **Graffiti 入力エリア**
Graffiti 文字で手書き入力をするための領域です。

12 **キーボードアイコン（52 ページ）**

13 **検索アイコン**
タップすると「検索」画面が表示されます。

14 **Graffiti ／ソフトウェアキーボード切り換えアイコン（53 ページ）**

15 **リサイズアイコン**
画面を切り換えます。

ステータスバー

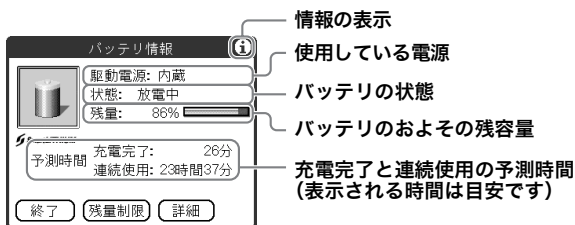
以下のアイコンが常に表示されます。その他に、アプリケーションに応じて独自の機能のアイコンが表示されます。

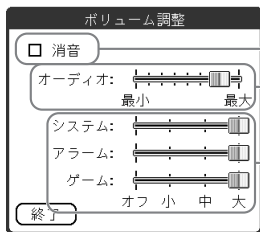
タップするとホーム画面を表示します。

タップするとメニューを表示します。

タップすると「検索」画面を表示します。

タップすると「シルク プラグイン」画面を表示します。シルク プラグインがインストールされているときには、シルク プラグインを切り換えることにより、シルクスクリーン領域の表示と機能を変更することができます。

バッテリ残量を表示します。充電中は アイコンが表示されます。
タップすると「バッテリ情報」画面が表示されます。

“メモリースティック”が入っているときにタップすると、“メモリースティック”の情報が表示されます。
“メモリースティック”が書き込み禁止になっている場合は アイコンが表示されます。
GPS モジュールなどの“メモリースティック”型周辺機器を入れると アイコンが表示されます。
“メモリースティック”が正常に認識されないときは、 アイコンが表示されます。
“メモリースティック”が入っていない場合は アイコンが表示されます。

タップすると「ボリューム調整」画面を表示します。

1 ［消音］の □ を ☑ にすると、ボリュームの設定にかかわらず消音になります。消音中はステータスバーに アイコンが表示されます。

2 音声や動画などの再生に反映されます。

3 それぞれ、「環境設定」ー［一般］の［システム音］、［アラーム音］、［ゲーム音］の設定に反映されます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：各種の操作音の設定を変更する」をご覧ください。

13:10 時刻が表示されます。表示の書式は、「環境設定」ー［書式］の［時刻］で変更します。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：日時／数値などの表示書式を設定する」をご覧ください。

タップすると文字入力エリアの表示／非表示が切り換わります（対応アプリケーションのみ）。

文字入力アイコン

文字入力時に使用します。

変換：漢字に変換します。

決定：表示されている変換候補を確定します。

あ/ア：ひらがな入力とカタカナ入力を切り換えます。

日/英：日本語入力モードを入／切します。

明るさ調節アイコン

タップすると、液晶画面のバックライトの明るさを調節するための画面が表示されます。

ご注意

デジタイザの調整が正しくないと、タップしづらいことがあります。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：入力位置を調整する（デジタイザ）」をご覧ください。

編集操作アイコン

アプリケーションに対する操作機能が登録されています。
標準では次の機能が登録されています。

：アプリケーションの送信

：情報の表示

：アプリケーションの削除

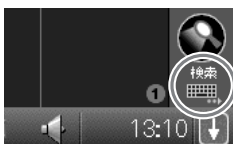
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの基本操作：「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」を使いこなす：編集操作アイコン」をご覧ください。

ヒント

アプリケーションをインストールすると、機能が追加されることがあります。

キーボードアイコン

タップすると、スクリーンキーボードが表示されます。

Graffiti ／ソフトウェアキーボード切り換えアイコン

タップすると Graffiti 入力エリアとソフトウェアキーボードが切り換わります。
ソフトウェアキーボードの操作方法はスクリーンキーボードと同じですが、スクリーンキーボードのように有効画面を狭くせずにアプリケーションが使えます。

ヒント

ソフトウェアキーボードの表示を切り換えるには

以下のアイコンをタップして、キーボードの表示を切り換えることができます。

abc ：アルファベットを表示します。

かな ：ひらがなを表示します。

カナ ：カタカナを表示します。

記号 ：記号を表示します。

コード ：コード表を表示します。

アプリケーションを起動する

本機は「アプリケーション」によりさまざまな機能を実現します。本機で何か操作をするためには、「アプリケーション」を起動する必要があります。

ホーム画面「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」からアプリケーションを起動する

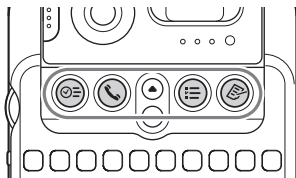
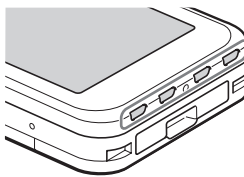
1 **ホーム アイコンをタップして、ホーム画面を表示する。**

2 **ジョグダイヤルを回して起動したいアプリケーションのアイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

ヒント

アプリケーションアイコンをタップして、起動することもできます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの基本操作：アプリケーションを起動する」および「クリエの基本操作：「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」を使いこなす」をご覧ください。

アプリケーションボタンを押して起動する

本体側

ディスプレイパネル側

アプリケーションボタンを押してアプリケーションを起動できます。工場出荷時の状態では、ボタンのアイコンに合わせて、「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」が起動します。

ご注意

ディスプレイパネル側のアプリケーションボタンは、ターンスタイル（24 ページ）のときのみ有効です。

ヒント

- 本機の電源が入っていなくても、アプリケーションボタンを押すと本機の電源が入り、アプリケーションが起動します。
- アプリケーションボタンに好みのアプリケーションを割り当てることもできます。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：アプリケーションボタンの割り当てを変更する」をご覧ください。

アプリケーションを終了するには

クリエは 1 度に 1 つのアプリケーションだけを動かします。
別のアプリケーションを起動すると、自動的に前のアプリケーションが終了するので、
「アプリケーションを終了させる」という操作は必要ありません。
アプリケーションで作業中に別のアプリケーションに切り換えるには、ホーム アイコンをタップするか、またはアプリケーションボタンを押します。

ヒント

パソコンでの操作と異なり、アプリケーションを終了するときにデータの保存を行う必要はありません。
作業中のアプリケーションでの編集内容は自動的に保存され、そのアプリケーションを再度起動すると同じ内容が表示されます。

ご注意

一部のアプリケーションでは、「終了」、「保存」の操作があります。
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

文字の入力方法について

文字の入力方法について

本機では、以下の5種類の方法で文字を入力できます。お好みに合わせて、ご自分にあった方法をお選びください。

日本語の入力や漢字変換について詳しくは、別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」をご覧ください。

● ハードウェアキーボード（43ページ）

パソコンのキーボードと同様の操作で文字を入力します。大量の文字を入力するときに便利です。

● スクリーンキーボード（52ページ）

画面上に表示されたキーボードをタップして、文字を入力します。

➡**スクリーンキーボードを使った入力について詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：文字入力を練習する（スクリーンキーボードで入力する）」をご覧ください。

● ソフトウェアキーボード（53ページ）

スクリーンキーボードと操作方法は同じですが、スクリーンキーボードのように有効画面を狭くせずにアプリケーションが使えます。

● Graffiti（グラフィティ）

Graffitiという手書き入力専用の文字を使って、文字を入力します。Graffitiの入力に慣れると、スクリーンキーボードを使うよりも速く入力できるようになります。

➡**Graffitiを使った入力について詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」をご覧ください。

● パソコンからのHotSync

大量の文字を入力したり、パソコンのキーボードを使って入力したいときはCLIE Palm Desktopソフトウェアを使って、HotSyncすることで文字データをクリエに転送できます。詳しくは、CLIE Palm Desktopソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ヒント

日本語変換システム「ATOK」を使うこともできます

本機にはPalm OS標準の日本語入力システムの他に、変換効率の高い日本語変換システムとして定評のあるATOKが付属しています。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：ATOKを使用する」をご覧ください。

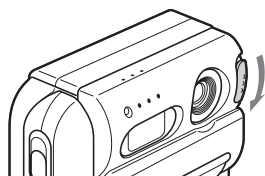
静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

簡単に撮影する

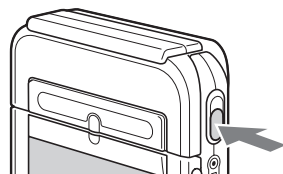
1 本機をターンスタイルにして、カメラのレンズカバーを開く。

ヒント

自分撮りをするときは、オープンスタイルにします。

2 CAPTURE ボタンを押して、「CLIE Camera S」を起動する。

しばらくしてからアプリケーションが起動します。

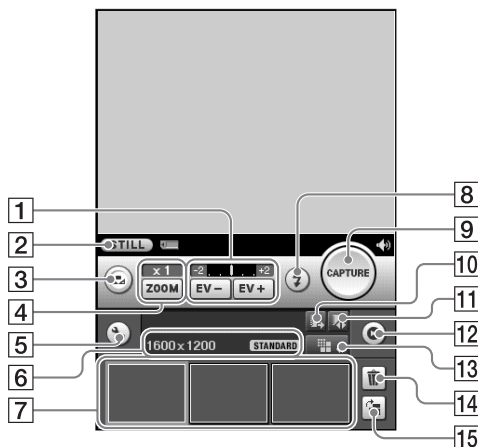
ヒント

「CLIE Launcher」（54 ページ）で CLIE Cam S アイコンを選択して、起動することもできます。

3 ファインダーで被写体をとらえて、CAPTURE ボタンを半押しする。

「ピピィ」と音がして、被写体にピントが合います。

4 半押しのまま、CAPTURE ボタンをさらに押し込む。

キャプチャー音がして、撮影されます。

「CLIE Camera S」画面の見かた

1 EV 補正(65 ページ)

2 **「Movie Recorder」起動ボタン**
アプリケーションを「Movie Recorder」に切り換えます。動画撮影ができるようになります。

3 **カスタムボタン(63 ページ)**

4 **ズーム倍率(65 ページ)**

5 **設定画面呼び出しボタン**
設定画面を表示します。

6 **画像サイズ/画質表示(60 ページ)**

7 **撮影済み画像表示**
撮影済みの画像のうち、最新の 3 枚を表示します。

8 **フラッシュモードボタン(64 ページ)**

9 CAPTURE **ボタン**
タップして撮影します。

10 **アルバム起動ボタン**
CLIE Album が起動します。

11 **アルバム登録選択ボタン**
タップして撮影する画像をどのアルバムに貼り付けるか選びます。

12 **ビューアー起動ボタン**
CLIE Viewer を起動して撮影した画像を見ることができます。

13 **画像サイズ/画質変更ボタン(60 ページ)**

14 **削除ボタン**
撮影済み画像表示エリアで選択されている画像を削除します。

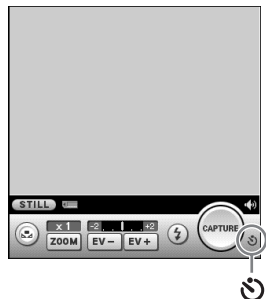
15 **回転ボタン**
撮影済み画像表示エリアで選択されている画像を時計回りに 90 度回転します。

便利な機能を使う

セルフタイマーで撮影する

1 設定画面呼び出し ボタンをタップして、設定画面を表示する。

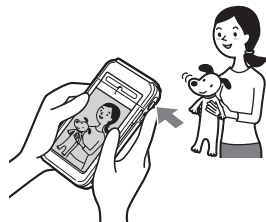
2 [セルフタイマ]をタップして[ON]を選択し、[OK]ボタンをタップする。

画面に （セルフタイマー）が表示されます。

3 ファインダーで被写体をとらえて、CAPTURE ボタンを押し込む。

セルフタイマーのカウントダウンが始まり、約 10 秒後に撮影されます。

ヒント

セルフタイマーを途中で止めるには

カウントダウンバーの右側の ボタンをタップしてください。

ご注意

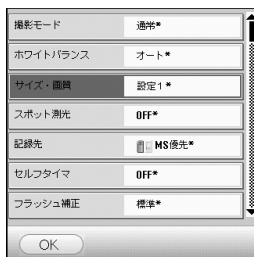
カメラの前に立って CAPTURE ボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

画像サイズと画質を変更する

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）と画質（圧縮率）を選ぶことができます。
ボタンをタップすると、登録された3種類の設定から選択することができます。

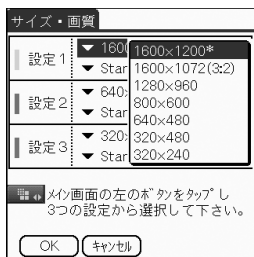
画像サイズ／画質設定を登録する

1 設定画面呼び出し ボタンをタップして、設定画面を表示する。

2 [サイズ・画質]をタップして、[サイズ・画質]画面を表示する。

3 画像サイズ／画質をそれぞれリストから選択して、[OK]ボタンをタップする。

ヒント

画像サイズを大きく、画質を高くするほど、画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、クリエ本体のメモリおよび"メモリースティック"に記録できる枚数は少なくなります。
目的に合った画像サイズと画質をお選びください。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「アプリケーションマニュアル」の「CLIE Camera S」をご覧ください。

撮影した画像の記録先を変更する

1 設定画面呼び出し ボタンをタップして、設定画面を表示する。

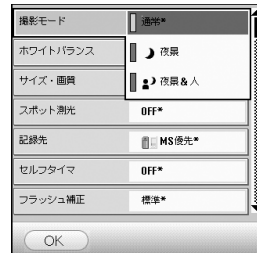
2 [記録先]をタップして、記録先を選択する。

MS 優先	撮影した画像データを、“メモリースティック”が入っていれば“メモリースティック”に、そうでなければクリエ本体のメモリに保存します。 本機に入っている“メモリースティック”の残量が足りなくなっても、クリエ本体のメモリへの保存は行いません。 （初期設定）
MS	撮影した画像データを 、“メモリースティック”に保存します。
本体	撮影した画像データを、クリエ本体のメモリに保存します。

場面に合わせて撮影する

夜景、夜景と人物を撮影するときは、撮影モードを設定して効果を高めることもできます。

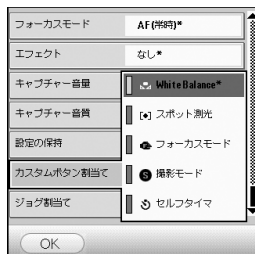
1 **設定画面呼び出し ボタンをタップして、設定画面を表示する。**

2 **[撮影モード]をタップして、撮影モードを選択する。**

通常	通常の撮影モードです。(初期設定)
夜景	暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮影することができます。 シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれに注意してください。 フラッシュは使用できません。
夜景 & 人	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際だたせた画像を撮影することができます。 シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれに注意してください。 フラッシュが強制的に発光します。

カスタムボタンに機能を割り当てる

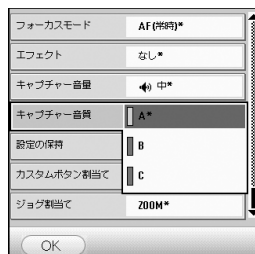
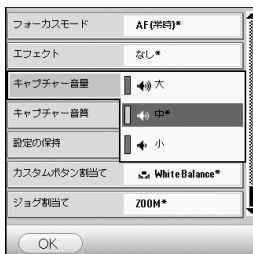
カスタムボタンに、よく使用する機能を割り当てておくと便利です。

1 設定画面呼び出し ボタンをタップして、設定画面を表示する。

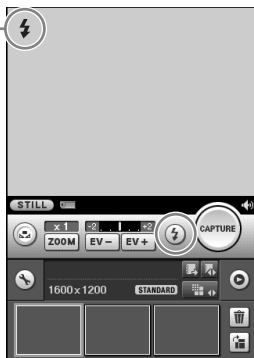
2 [カスタムボタン割当て]をタップして、設定する機能を選択する。

キャプチャー音を変更する

キャプチャー音の音量と音質を変更できます。

1 設定画面呼び出し ボタンをタップして、設定画面を表示する。

2 [キャプチャー音量]をタップして、シャッター音量を選択する。
[キャプチャー音質]をタップして、シャッター音の音質を選択する。

フラッシュモードを選ぶ

撮影する状況に応じて、フラッシュモードを選択します。

1 フラッシュモード ボタンをタップして、フラッシュモードを選択する。

表示なし（オート）	撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的に発光します。（初期設定）
（強制発光）	周囲の明るさに関係なく発光します。
（発光禁止）	発光しません。

そのほかの機能

➡**詳しくは、**パソコンで見る「アプリケーションマニュアル」の「CLIE Camera S」をご覧ください。

メイン画面

ズーム	ZOOM ボタンをタップして、ズームを 2 段階に切り換えます。
EV 補正	EV－ ／ EV＋ ボタンをタップして、露出を補正します。

設定画面

ホワイトバランス	色合いを調節します。 ホワイトバランスがオートに設定されているときは、撮影状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定され、全体の色のバランスが調整されます。撮影条件を固定したいときや特定の照明状態で撮影するときは、マニュアルで設定することができます。 （初期設定：オート）
スポット測光	逆光のときや、被写体と背景とのコントラストが強いときでも、撮りたい被写体に露出を合わせることができます。 （初期設定：OFF）
フラッシュ補正	フラッシュの明るさを設定します。 （初期設定：標準）
赤目軽減	撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。 （初期設定：OFF）
フォーカスモード	ピント合わせの方法を選択します。 （初期設定：AF（常時））
エフェクト	画像に特殊効果を加えることができます。 （初期設定：なし）
設定の保持	次回の起動時に、現在の設定を保持するか、初期設定に戻すかを機能毎に選択します。 （初期設定：すべて初期設定に戻す）
ジョグ割当て	ジョグダイヤルに割り当てる機能を設定します。 （初期設定：ZOOM）

静止画の楽しみかた

用意する

見る・選択する

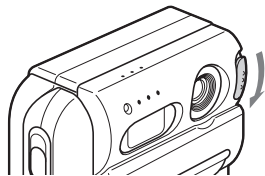
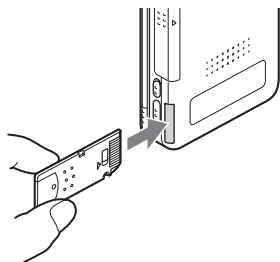
活用する

動画を撮影する

動画を撮影する

1 本機をターンスタイルにして、カメラのレンズカバーを開く。

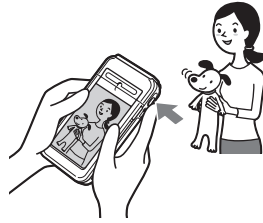
ヒント

自分撮りをするときは、オープンスタイルにします。

2 撮影したい動画を記録する"メモリースティック"をクリエに入れる。

3 「CLIE Launcher」(54 ページ)で Movie Rec アイコンを選択して起動する。

しばらくしてからアプリケーションが起動します。

次のページにつづく

4 ファインダーで被写体をとらえて、CAPTURE ボタンを押す。

撮影を開始します。

5 撮影を終了するときは、もう一度 CAPTURE ボタンを押す。

動画の楽しみかた

用意する

動画を撮る

Movie Recorder（ムービーレコーダー）.................... 101 ページ

パソコンから動画を取り込む

Image Converter（イメージコンバーター）..................98 ページ

Giga Pocket Plugin（ギガポケットプラグイン）..............99 ページ

見る・選択する

一覧から探して動画を見る／選択する

CLIE Viewer（クリエビューワー）...........................99 ページ

動画を再生する

Movie Player（ムービープレイヤー）...................... 101 ページ

送る

メールで送る

CLIE Mail（クリエメール）............................... 105 ページ

ファイルを開く・再生する（CLIE Viewer）

（クリエ　ビューワー）

クリエ上の静止画や動画を再生したり、音声メモや手書きメモを開く場合には「CLIE Viewer」を使います。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

ファイルを開く／再生する

1　ホーム アイコンをタップして、ホーム画面を表示する。

2　CLIE Viewer アイコンを選択して、「CLIE Viewer」を起動する。

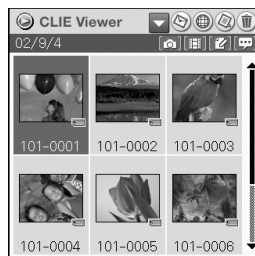
ヒント

「CLIE Camera S」画面の アイコンから「CLIE Viewer」を起動することもできます。

3　ジョグダイヤルを回して表示したいファイルを選び、ジョグダイヤルを押す。

選んだファイルが表示されます。

ヒント

アイコンをタップして、表示することもできます。
ファイルの一覧は、作成日時順に表示されています。

ファイルを選択する / 削除する

クリエ上の静止画や動画をメールに添付したり、静止画を「PhotoStand」（100 ページ）、「CLIE Album」（99 ページ）、「Photo Editor」（100 ページ）の各アプリケーションで活用する場合やファイルを削除する場合、「CLIE Viewer」の一覧表示画面から目的のファイルを選択することができます。

1 「CLIE Viewer」を起動して、コマンドボタンをタップして機能を選択する。

（メールアイコン）：メールに添付するファイルを選択する
「CLIE Mail」をインストールすると表示されます。

（PhotoStandアイコン）：「PhotoStand」に登録する静止画を選択する

（地球アイコン）：インターネット上の画像アルバムサイト「イメージステーション」にアップロードする
「Image Upload Utility」、「CLIE Mail」と「NetFront」をインストールする必要があります。
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Image Upload Utility」をご覧ください。

（ごみ箱アイコン）：削除するファイルを選択する

（▼アイコン）：その他のアプリケーション（「Photo Editor」、「CLIE Album」）はプルダウンメニューから機能を選択します。

CLIE Viewer
02/9/4
101-0001 101-0002 101-0003
101-0004 101-0005 101-0006

2 ファイルの □ をタップして ☑ にする。

ヒント
すべてのファイルを選択する場合は、[全選択]をタップします。

3 [OK]をタップする。

手順 1 で選択した機能を実行します。

パソコンと連携して使う

クリエをパソコンと連携して使う前に、次の準備を行います。

1 **ソフトウェアをパソコンにインストールする**

2 **クレードルとパソコンをつなげる**

3 **クリエのユーザー名を設定する**

❶ ソフトウェアをパソコンにインストールする

インストールする前に付属のクレードルをパソコンにつながないでください。正しくインストールできない場合があります。

お使いのパソコンに、付属 CD-ROM に入っている「CLIE Palm Desktop」というソフトウェアをインストールします。クリエとパソコンでデータをやり取りしたり、住所録などの情報をパソコンの画面で入力するためのソフトウェアです。

➡**パソコンに必要なシステム構成について詳しくは、**「パソコンに必要なシステム構成」（125 ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

ご注意

- パソコン上で付属 CD-ROM の内容を開いて、「CLIE Palm Desktop」フォルダをパソコンにコピーしないでください。必ずこの冊子の手順に従って、インストールしてください。

- Windows 2000 Professional または Windows XP をお使いの場合、コンピューターの管理者（Administrator）権限のユーザー（アカウント）でログオンしてからインストールを行ってください。
この際のユーザー（アカウント）名は、半角英数字をご使用ください。

- すでにクリエをお使いの場合、**すでにお使いの CLIE Palm Desktop ソフトウェアを削除（アンインストール）せずに**以下の手順で新しい CLIE Palm Desktop ソフトウェアを上書きしてください。
  * PEG-N700C/PEG-S300/PEG-S500C をお持ちの場合は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。

  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「他のクリエのデータを移す」をご覧ください。

1 Windows 上で起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットする。

しばらくすると、パソコンに「インストール CD-ROM」画面が表示されます。

3 [次へ]ー[クリエ基本ソフトウェア]ー[CLIE Palm Desktop]の[インストール]ボタンをクリックする。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのパソコンへのインストールが始まります。以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが完了すると、「セットアップの完了」画面と「クリエオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

4 [完了]をクリックする。

5 画面の指示に従って、カスタマー登録を行う。

カスタマー登録が終わったら、「クリエオンラインカスタマー登録」画面を閉じて、インストール画面に戻ります。

ご注意

オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。

ヒント

あとでカスタマー登録をするときは

ブラウザを閉じてください。

6 画面の指示に従って、HotSync の動作確認を行う。

ここでは、HotSync 機能（76 ページ）の動作確認を行います。表示されている画面をよく読んで動作確認をしてください。

7 HotSync の動作確認が終了したら、画面左下の［終了］をクリックする。

これでパソコンへの CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが終わりました。

ヒント

カスタマー登録とは

ソニーへクリエの正規ユーザーとして登録することです。
登録をすると、最新のプログラムのダウンロードなど、登録カスタマー専用の各種サービスが受けられます。サービスの内容について詳しくは、クリエのホームページ（http://www.sony.jp/CLIE/）をご覧ください。
修理や使いかたのお問い合わせなど、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）をご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号（16 桁）」、「カスタマーID（13 桁）」のいずれかが必要になります。
また、クリエに付属の保証書期間はお買い上げ日から 3 か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が 1 年間となります。保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（119 ページ）をご覧ください。

カスタマー登録は以下の方法でもできます

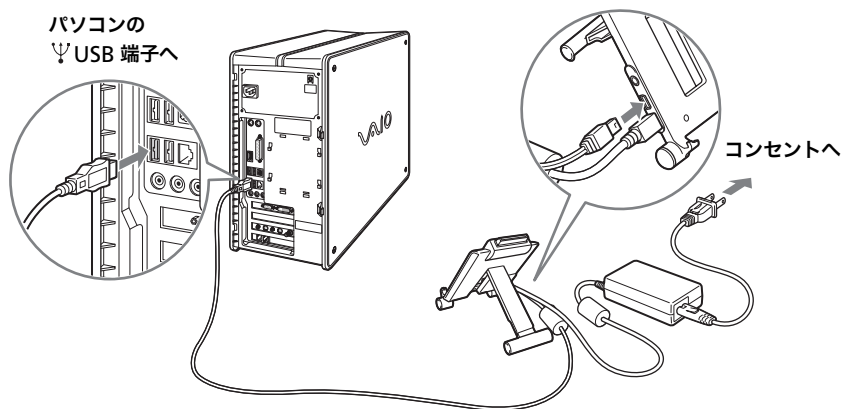
- 付属のカスタマー登録はがきを使う
- 「インターネットに接続する」（87 ページ）の操作手順でインターネットに接続したあとに、あらためてクリエでオンラインカスタマー登録を行う

手順 5 でインストールの操作ができなくなったら

パソコンの［Alt］キーを押しながら［tab］キーを、何度か押してみてください。
手順 3 でインストールの操作中にパソコン画面上の「インストール CD-ROM」画面などをクリックすると、「インストール」画面が「インストール CD-ROM」画面の背後に隠れてしまい、インストールの操作ができなくなることがあります。このときは上記の操作をすることで、「インストール」画面を再び前面に出すことができます。

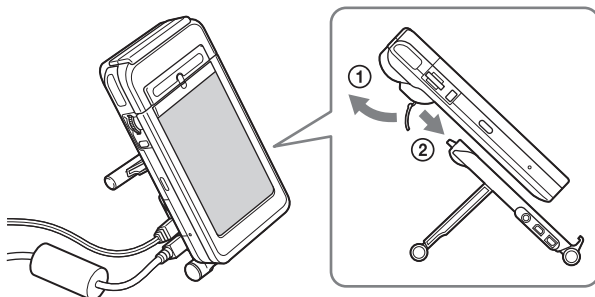
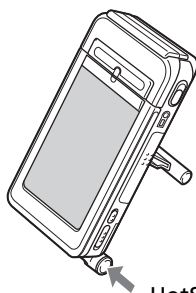
❷ クレードルとパソコンをつなげる

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが終了したら、パソコンの USB 端子にクレードルを接続し、クリエをパソコンと連携して使えるようにします。

クレードルをパソコンに接続する

ご注意

クレードルは、必ずパソコン本体の USB 端子へ接続してください。USB ハブなどを利用した場合、正常に HotSync が行われない場合があります。

❸ クリエのユーザー名を設定する

1 **クリエをクレードルに取り付ける。**

2 **クレードルの HotSync ボタンを押す。**

必要なソフトウェアのインストールが自動的に始まります。

3 **パソコンに「ユーザ」画面が表示されたら、パソコンの画面で新規ユーザー名を入力する。**

ユーザー名とは、クリエの使用者名のことです。好みの名前を入力してください。

ご注意

すでに別のクリエをお使いの場合は

別のクリエで使用しているユーザー名とは違うものを入力してください。
同じユーザー名にすると、不具合が起こることがあります。

ヒント

他のクリエのデータを引き継ぐ場合は

別冊「クリエ読本」の「他のクリエのデータを移す」をご覧ください。

次のページにつづく

4 パソコンの画面で[OK]をクリックする。

クリエから「ピロリ♪」と音がして、クリエとパソコンがデータをやり取り（HotSync）します。
このとき、手順 3 で入力した使用者名がクリエにも登録されます。
クリエの画面に「HotSync 機能が終了しました」と表示されると、設定完了です。

これで準備は完了です！

パソコンとデータを同期する（HotSync）

ホットシンク

HotSync とは？

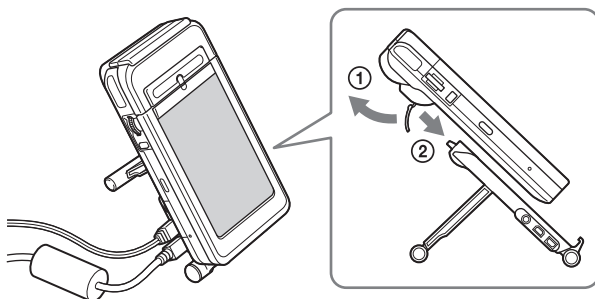
クリエとパソコンのデータをやり取りし、双方のデータを最新の状態にしたり、データのバックアップを取る、アプリケーションのインストールをするといった操作を HotSync と呼びます。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「パソコンとクリエを同期させる」をご覧ください。

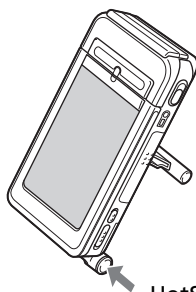
HotSync する

パソコンとクリエを連携させて、文字入力の練習で入力した予定表をパソコンで読んでみましょう。

1 パソコンを起動する。

2 82 ページの手順を参考にして、「予定表」に新しいスケジュールを入力する。

3 クリエをクレードルに取り付ける。

4 クレードルの HotSync ボタンを押す。

クリエとパソコンで HotSync を行います。

HotSync が終了するとクリエに次の画面が表示されます。

パソコンと連携して使う

次のページにつづく

5 パソコンのデスクトップ画面で、[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

またはデスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])−[Sony CLIE]− [CLIE Palm Desktop]の順にクリックします。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動します。

6 予定 アイコンをクリックする。

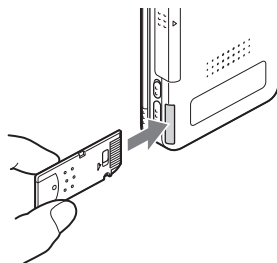
予定表が表示されます。
手順 2 で入力した日を表示させると、入力した予定が表示されます。

クリエの楽しみかた

“メモリースティック”対応機器で撮影した静止画や動画をクリエで見る

ヒント

本機で閲覧可能な画像形式は次の通りです。
静止画：JPEG（DCF）形式、PictureGear Pocket 形式
動画：Movie Player 形式（クリエで撮影したり、Image Converter や Giga Pocket Plugin で変換した動画形式）、MPEG Movie 形式（ソニー製デジタルスチルカメラやハンディカムで撮影した MPEG1 形式の動画）
お手持ちの“メモリースティック”対応機器で撮影可能な画像形式については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 静止画や動画を保存した“メモリースティック”をクリエに入れる。

2 「CLIE Viewer」を起動して静止画や動画を見る。

➡**詳しくは、**「ファイルを開く・再生する（CLIE Viewer）」（69 ページ）をご覧ください。

ボイスレコーダーを使う

音声メモを録音する

1 「CLIE Launcher」(54 ページ)で Voice Rec アイコンを選択して起動する。

2 VOICE REC ボタンを押す。

録音が開始されます。内蔵マイクに向かって話してください。

ヒント

VOICE REC ボタン(39 ページ)を押すと「Voice Recorder」が起動し、ただちに録音が開始されます。

3 録音を停止するときは、もう一度ボタンを押す。

音声メモを再生するには

「Voice Recorder」または、「CLIE Viewer」で再生できます。

➡**「Voice Recorder」について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

➡**「CLIE Viewer」について詳しくは、**「ファイルを開く／再生する」(69 ページ)をご覧ください。

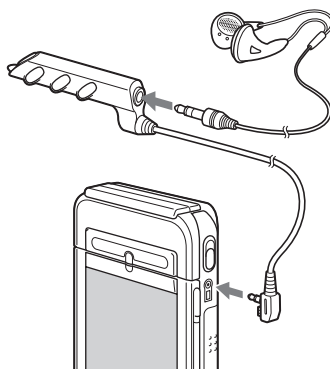
音楽を楽しむ

ご注意

本機で音楽を聞くためには準備が必要です。

1 再生したい音楽をパソコンで準備し、クリエに転送する。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「音楽を楽しむ」をご覧ください。

2 本機に、付属のリモコンとヘッドホンを接続する。

3 「CLIE Launcher」（54 ページ）でAudioPlayer アイコンを選択して起動する。

4 再生 ボタンをタップして音楽を再生する。

音楽を停止するときは、停止 ボタンをタップします。

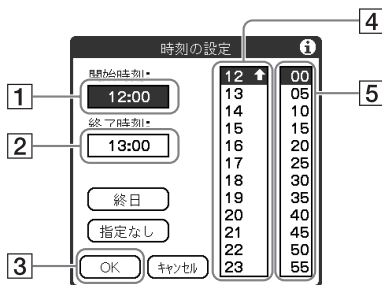
ヒント

リモコンでも操作できます。

スケジュールを管理する（予定表）

新しくスケジュールを入力する

1 ⊘≡ボタンを押して、「予定表」を起動する。

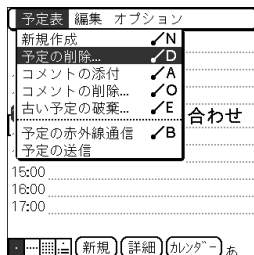
2 ［新規］をタップして、スケジュールの開始時刻と終了時刻を設定する。

1 タップして開始時刻を設定します。
2 タップして終了時刻を設定します。
3 設定が完了したらタップして決定します。
4 タップして「時」を選択します。
5 タップして「分」を選択します。

3 スケジュールを入力する。

スケジュールを削除する

1 「予定表」画面で、削除したいスケジュールをタップしたあと、メニューアイコンをタップする。

2 [予定表]メニューの[予定の削除 ...]をタップする。

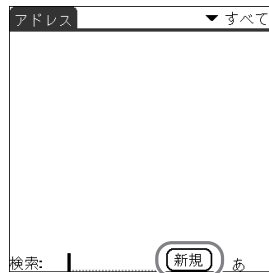
削除の確認画面が表示されます。

3 [OK]をタップする。

住所や電話番号を管理する（アドレス）

新しくアドレスを入力する

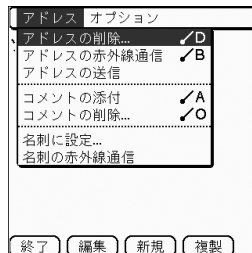
1 ボタンを押して、「アドレス」を起動する。

2 [新規]をタップして、情報を入力する。

ヒント
画面右下の▲／▼をタップすると入力画面がスクロールします。

アドレスを削除する

1 削除したいアドレスをタップしたあと、メニューアイコンをタップする。

2 [アドレス]メニューの[アドレスの削除 ...]をタップする。

削除の確認画面が表示されます。

3 [OK]をタップする。

パソコンの予定表やアドレスと連携する

HotSync(76 ページ)を使って、クリエで入力した予定表やアドレスをパソコンに転送したり、パソコンで管理している予定表やアドレスをクリエに転送することができます。

パソコンで使うアプリケーションに応じて、次の 2 つの方法があります。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアと連携する

パソコン上の CLIE Palm Desktop ソフトウェアで管理している予定表やアドレスとクリエを連携します。

➡**CLIE Palm Desktop ソフトウェアとの連携について詳しくは、**「パソコンとデータを同期する(HotSync)」(76 ページ)をご覧ください。

Microsoft® Outlook と連携する(Intellisync Lite for Sony CLIE)

パソコン上の Microsoft Outlook と連携するためには、パソコンに Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアをインストールする必要があります。

➡**インストールの方法について詳しくは、**「付属アプリケーションのインストール方法」(97 ページ)をご覧ください。

ヒント

Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアはインストーラメニュー画面の「クリエを使いこなす」からインストールできます。

➡**操作・設定方法について詳しくは、**Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム](Windows XP では[すべてのプログラム])−[Intellisync Lite for Sony CLIE]−[Intellisync ヘルプ]の順にクリックします。

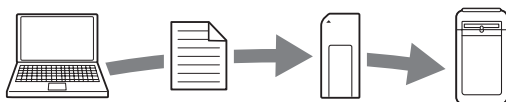
パソコンで作成したドキュメントをクリエで見る（Picsel Viewer for CLIE）

ご注意

「Picsel Viewer for CLIE」を使うためには準備が必要です。

1 **クリエに「Picsel Viewer for CLIE」をインストールする。**

2 **パソコン上でドキュメントを準備し、"メモリースティック"に転送する。**

「Memory Stick Import」を使用して、クリエに挿入した"メモリースティック"にドキュメントを転送します。

3 **クリエで「Picsel Viewer for CLIE」を起動し、パソコンから転送されたドキュメントを見る。**

➡**詳しくは、**パソコンで見る「アプリケーションマニュアル」の「Picsel Viewer for CLIE」をご覧ください。

インターネットに接続する

ご注意

インターネットに接続するためには、本機に対応した通信カードおよびインターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。

クリエにアプリケーションをインストールする

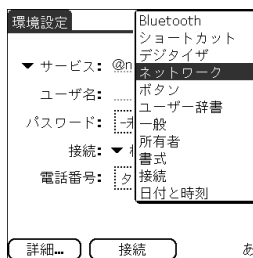
目的にあわせて、クリエにアプリケーションをインストールしてください。

クリエでホームページを見る：「NetFront」（105 ページ）

メールをやり取りする：「CLIE Mail」（105 ページ）

➡**アプリケーションごとに必要な設定について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

プロバイダの設定を行う

1 「環境設定」を起動し、画面右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。

クリエの楽しみかた

次のページにつづく

2 プロバイダの情報を入力する。

1 サービス

使用するサービス（プロバイダ名）を選びます。
リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、[サービス]メニューから[新規]を選んで、好みのサービス名を入力することもできます。

2 ユーザ名

プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

3 パスワード

プロバイダと契約したときに登録したパスワードを入力します。

4 接続

お使いの通信カードに対応した接続名を選びます。

ヒント

DDI ポケットの CF 型 PHS カードの場合：PHS カード（D）
NTT DoCoMo の CF 型 PHS カードの場合：PHS カード（N）
モデムカードの場合：アナログモデムカード

5 電話番号

プロバイダから指定された接続先電話番号を入力します。

ヒント

お使いの携帯電話／ PHS によっては、「#32」などのオプション番号が必要な場合があります。
➡**詳しくは、**プロバイダおよび電話会社へお問い合わせください。

インターネットに接続する

1 **本機に通信カードを挿入する。**

2 **「CLIE Launcher」(54 ページ)で、目的のアプリケーションを選択して起動する。**

3 **ホームページの閲覧やメールの送受信を開始する。**

自動的にインターネットに接続します。

ヒント

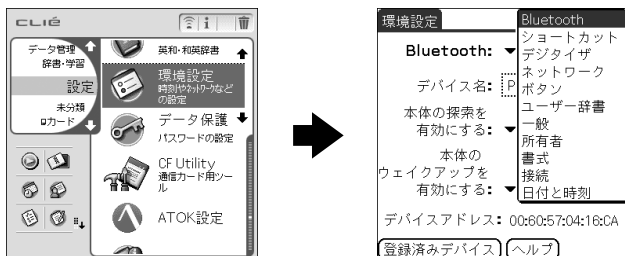
クリエ上の静止画や動画をメールに添付する場合、「CLIE Viewer」の一覧表示画面から目的のファイルを選択することができます。

➡**詳しくは、**「ファイルを選択する / 削除する」(70 ページ)をご覧ください。

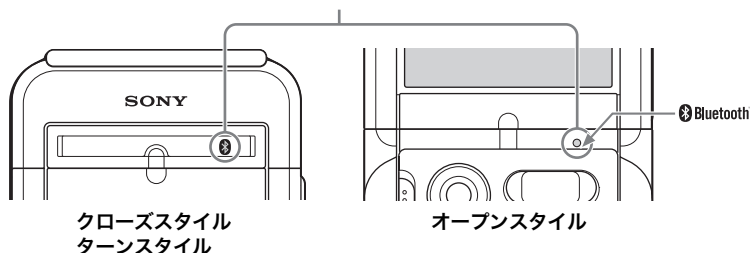
Bluetooth™ 機能を使う

ご注意

通信機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器により、通信速度や通信距離は異なります。

本機内蔵の Bluetooth 機能を使うと、身近な範囲(約 10 メートル)にある他の Bluetooth 対応機器とのワイヤレス通信により、画像の送信などを行うことができます。
Bluetooth 機能を使うためには、「環境設定」画面の[Bluetooth]で、[Bluetooth]を[オン]にしてください。

Bluetooth ランプ
Bluetooth 機能が通信状態のときに点灯します。
電波の待ち受け状態のときは点滅します。

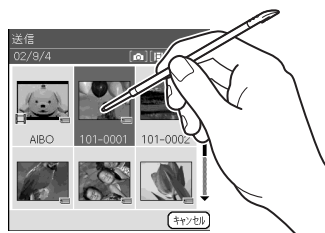
クローズスタイル
ターンスタイル

オープンスタイル

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定):Bluetooth™ 機能を設定する」をご覧ください。

Bluetooth 機能内蔵／ Bluetooth モジュール（別売）装着済のクリエに画像や予定表データなどを送信する

1 ファイルを選択する。

静止画／動画、音声メモや手書きメモを送信する

CLIE Viewer（69 ページ）を起動して、メニュー アイコンをタップし、［データ］メニューから［送信...］を選んだあと、送信したいファイルをタップしてください。

ヒント

静止画を送信する場合は

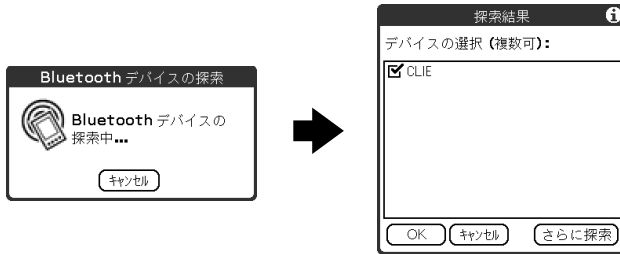
画面上から、お好みの送信方法を選択します。
（お使いの環境によっては、この画面は表示されません）

送信方法の例
Bluetooth（BIP）：送信先の機器に最適化した画像を送るための送信方法です。

予定表やアドレスのデータを送信する

送信したい予定やアドレスをタップしたあと、メニュー アイコンをタップし、メニューから「予定の送信」（「予定表」の場合）、または「アドレスの送信」（「アドレス」の場合）を選んでください。

2 ファイルを送信する。

「Bluetooth デバイスの探索」画面が表示されたあと、身近な範囲にある通信可能なクリエが「探索結果」画面に表示されるので、送信したいクリエをタップして選んでください。

双方のクリエの画面上に「Bluetooth の接続状況」画面が表示されるので、画面の指示に従ってください。

ヒント

本機から接続対象機器を 1 度探索した後、接続対象機器の Bluetooth デバイス名を変更した場合は、次回のデバイス探索で古いデバイス名が表示される事があります。
この場合は、次の手順で操作してください。
① Bluetooth の設定画面（90 ページ）を開き、メニュー アイコンをタップする。
② [オプション]メニューの[デバイス名キャッシュの無効化]をタップする。
③ 再度デバイス探索を行う。

ご注意

受信したデータ／ファイルを閲覧／利用するためには、それぞれのデータ／ファイル形式に対応したアプリケーションをあらかじめインストールしておく必要があります。

パソコンとワイヤレスで HotSync する

Bluetooth 機能搭載のパソコンをお使いの場合、クレードルとパソコンを接続せずに、ワイヤレスで HotSync する事ができます。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ 読本」の「パソコンとデータを同期する（その他の HotSync）：Bluetooth™ で HotSync する」をご覧ください。
対応機種や詳しい情報は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ（http://www.nccl.sony.co.jp/）をご覧ください。

デジタルカメラをリモコン操作する

Bluetooth の BIP* に対応しているデジタルカメラなら、「Remote Camera」を使って、デジタルカメラで撮影中の画面をクリエで見たり、リモコン操作でシャッターを切ることができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Remote Camera」をご覧ください。

ヒント

本機の他に必要なもの

デジタルカメラ（Bluetooth 搭載／ BIP* 対応機種）
例）Sony CyberShot DSC-FX77 など
*Basic Imaging Profile

その他の Bluetooth 対応機器と組み合わせて活用する

上記以外でも、Bluetooth 対応機器と組み合わせてクリエをさらに活用することができます。

➡**詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ（http://www.nccl.sony.co.jp/）をご覧ください。

Edy カードや IC カード乗車券の残額を確認する（FeliCa リーダー部）

ヒント

FeliCa（フェリカ）は、ソニーが開発した非接触 IC カード技術方式です。

Edy カードの例： Edy ロゴが付いているカードです。

IC カード乗車券の例： JR 東日本「Suica（スイカ）*」

* Suica イオカード（Suica 定期券のイオカード機能）を含みます。

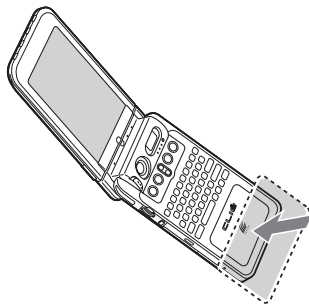
1 「CLIE Launcher」で、カードに対応したアプリケーションを選択して起動する

- **Edy カードの場合：**「Edy Viewer」 （110 ページ）
- **IC カード乗車券の場合：**「SFCard Viewer」 （111 ページ）

2 本機の「FeliCa リーダー部」にカードをかざす

FeliCa リーダー部の「CLIE」ロゴを覆わないようにかざしてください。

ご注意

カードは必ず 1 枚のみかざしてください。
複数枚のカードをかざそうとすると、正常に動作しません。

残額が表示されます

アプリケーションを使う

本機に付属のアプリケーションや「クリエ アプリケーションマニュアル」の使いかたを紹介します。付属アプリケーションに関する詳細のお知らせについては、それぞれのマニュアルをご覧ください。

付属アプリケーションの種類について

本機の付属アプリケーションには、以下の 3 種類があります。

- **本機にすでにインストールされていて、すぐにお使いになれるもの**
- **お客様が本機にインストールする必要のあるもの**
  インストールが必要なアプリケーションについては、97 ページの手順に従い、インストールしてください。
- **パソコンにインストールして使うもの**

「クリエ アプリケーションマニュアル」の使いかた

付属のアプリケーションの詳しい使いかたは、パソコン上の「クリエ アプリケーションマニュアル」で見ることができます。

ご注意

- あらかじめ「ソフトウェアをパソコンにインストールする」(71 ページ)に従って CLIE Palm Desktop ソフトウェアをお使いのパソコンにインストールしておいてください。CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールすると、「クリエ アプリケーションマニュアル」も同時にインストールされます。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」は「Microsoft Internet Explorer Version 5.0 」以降で動作確認をしています。正しく表示するために、「Microsoft Internet Explorer Version 5.0 」以降を使ってご覧ください。

クリエ アプリケーションマニュアルを開く

1 パソコンのデスクトップ画面上にある （[クリエ マニュアル PEG-NZ90]アイコン）をダブルクリックする。

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面が表示されます。

ヒント

デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから、[プログラム]（Windows XP の場合は[すべてのプログラム]）－[Sony CLIE]－[PEG-NZ90 について]－[クリエ マニュアル]の順にクリックして、「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面を表示することもできます。

2 画面上の[クリエ アプリケーションマニュアル]をクリックする。

「クリエ アプリケーションマニュアル」が表示されます。

ヒント

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面から、冊子で付属している「はじめにお読みください（取扱説明書）」、「クリエ読本」、「困ったときは Q&A」の PDF を開くこともできます。

ヒント

- 「クリエ アプリケーションマニュアル」を閉じるには、「クリエ アプリケーションマニュアル」画面右上にある ☒ をクリックします。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」画面右上にある ＿ （最小化）ボタンを使って、「クリエ アプリケーションマニュアル」をデスクトップ画面から隠す（最小化する）ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」をデスクトップ画面上に表示させたまま、他のソフトウェアなどを操作することもできます。

付属アプリケーションのインストール方法

付属のインストール CD-ROM からインストールが必要なアプリケーションは、以下の手順でパソコンからクリエにインストールします。
あらかじめ、付属の CD-ROM で CLIE Palm Desktop ソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続しておいてください。

ご注意

付属のアプリケーションは、本機でのみご使用いただけます。他のクリエまたは Palm OS 搭載機器での動作は保証いたしません。

1 Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットする。

インストーラが起動し、インストール画面が表示されます。

3 画面左側からインストールしたいアプリケーションの種類([音楽を楽しむ]など)をクリックする。

4 インストールするアプリケーションの[インストール]ボタンをクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

5 クリエにインストールするアプリケーションの場合は、クレードルの HotSync ボタンを押す。

HotSync が始まり、選んだアプリケーションがクリエに転送されます。

6 パソコンの画面で[終了]をクリックする。

インストール画面が終了します。

ヒント

アプリケーションは CLIE Palm Desktop ソフトウェアの機能を使ってクリエにインストールすることもできます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「アプリケーションを追加して機能を拡張する：インストールする：パソコンからインストールする」をご覧ください。

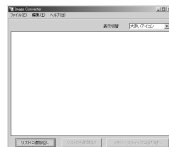
付属アプリケーションの紹介

静止画を撮る

- **使用するアプリケーション**
  CLIE Camera S（クリエ カメラ エス） クリエ用
- **キーワード**
  JPEG（DCF）形式
- **概要**
  本機の内蔵カメラを使って静止画を撮影するためのアプリケーションです。
- **ご使用にあたり：** インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンから静止画・動画を取り込む

- **使用するアプリケーション**
  Image Converter（イメージ コンバーター） PC用
- **キーワード**
  JPEG（DCF）形式、Movie Player 形式
- **概要**
  パソコンの画像をクリエで見ることができる形式に変換して、"メモリースティック"に保存します。
- **ご使用にあたり：** インストールが必要です　"メモリースティック"が必要です
- **インストール CD-ROM のメニュー**
  ［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンから動画を取り込む

- **使用するアプリケーション**
  Giga Pocket Plugin（ギガ ポケット プラグイン） PC用
- **キーワード**
  Movie Player 形式
- **概要**
  パソコンで録画した動画をクリエで見ることができる形式に変換して、“メモリースティック”に保存します。
- **ご使用にあたり：** インストールが必要です　“メモリースティック”が必要です
- **インストール CD-ROM のメニュー**
  ［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「Giga Pocket Plugin」のヘルプをご覧ください。

一覧から探してファイルを見る / 再生する

- **使用するアプリケーション**
  CLIE Viewer（クリエ ビューワー） クリエ用
- **概要**
  静止画、動画、手書きメモ、音声メモのファイルをまとめて管理、閲覧できるアプリケーションです。

- **ご使用にあたり：** インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

アルバムに整理する

- **使用するアプリケーション**
  CLIE Album（クリエ アルバム） クリエ用
- **概要**
  クリエ本体または“メモリースティック”内に保存された静止画をアルバムにまとめて管理できるアプリケーションです。
  アルバムの画面を、プリンターで出力したり、TV で見たりすることができます。
- **ご使用にあたり：** インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を自動表示する

使用するアプリケーション

フォト　スタンド
PhotoStand クリエ用

キーワード

JPEG（DCF）形式

概要

静止画を次々に自動表示するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を加工する

使用するアプリケーション

フォト　エディター
Photo Editor クリエ用

キーワード

JPEG（DCF）形式

概要

クリエで撮影した静止画の上に「お絵かき」をするためのアプリケーションです。無地のキャンバスを選んで絵を描くこともできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで撮影した静止画をパソコンで整理する

使用するアプリケーション

ピクチャー　ギア　スタジオ
PictureGear Studio PC用

概要

クリエで撮影した静止画をパソコンに取り込み活用するためのソフトウェアです。

- PC 上で静止画を使ったアルバムやバインダーを作成する
- PC 上に静止画を取り込み管理する
- ラベルの印刷をする
- CLIE Album で作成されたデータをパソコンとやり取りする

ご使用にあたり： インストールが必要です　“メモリースティック”が必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで撮影した静止画を「イメージステーション」にアップロードする

使用するアプリケーション

イメージ　アップロード　ユーティリティ
Image Upload Utility クリエ用

キーワード

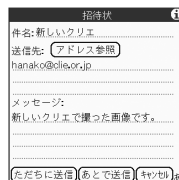
JPEG（DCF）形式

概要

クリエで撮影した静止画をインターネット上の画像アルバムサイト、「イメージステーション」にアップロードするためのアプリケーションです。
※ 「CLIE Mail」と「NetFront」をクリエにインストールする必要があります。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

動画を撮る

www.aibo.com

使用するアプリケーション

ムービー　レコーダー
Movie Recorder クリエ用

キーワード

Movie Player 形式（クリエで撮影したり、Image Converter や Giga Pocket Plugin で変換した動画形式）

概要

本機の内蔵カメラを使って動画を撮影するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み　“メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

動画を再生する

www.aibo.com

使用するアプリケーション

ムービー　プレイヤー
Movie Player クリエ用

キーワード

Movie Player 形式（クリエで撮影したり、Image Converter や Giga Pocket Plugin で変換した動画形式）、
MPEG Movie 形式（ソニー製デジタルスチルカメラやハンディカムで撮影した MPEG1 形式の動画）
プレイリスト、連続再生機能、インデックス機能

概要

本機の内蔵カメラを使って撮影した動画や、パソコンの Image Converter や Giga Pocket Plugin でクリエ用に変換した動画を再生するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み　“メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Macromedia® Flash™を再生する

- **使用するアプリケーション**
  Macromedia Flash Player 5（マクロメディア フラッシュ プレイヤー） クリエ用
- **キーワード**
  swf 形式
- **概要**
  Macromedia Flash コンテンツを再生するための
  アプリケーションです。
  ※パソコン用に作られた Flash コンテンツの中には完全に再生できないものもあります。
- **ご使用にあたり：** インストール済み “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで音楽を聞く

- **使用するアプリケーション**
  Audio Player（オーディオ プレーヤー） クリエ用
- **キーワード**
  MP3、ATRAC3
- **概要**
  “メモリースティック”に記録した音楽ファイルを再生するためのアプリケーションです。
- **ご使用にあたり：** インストール済み パソコンとの連携が必要です “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエに音楽ファイルを送る

- **使用するアプリケーション**
  SonicStage 1.5（ソニック ステージ） PC用
- **キーワード**
  ATRAC3
- **概要**
  クリエで聞く音楽ファイルをパソコン上で管理／作成します。
  “メモリースティック”に音楽ファイルを転送するときにも使用します。
- **ご使用にあたり：** インストールが必要です
- **インストール CD-ROM のメニュー**
  ［音楽を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」および「SonicStage」のヘルプをご覧ください。

音声メモをとる

使用するアプリケーション

Voice Recorder（ボイス レコーダー） クリエ用

概要

本機の内蔵マイクを使って音声を録音したり、再生するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

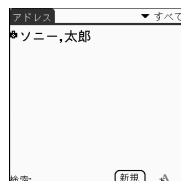
住所や電話番号を管理する

使用するアプリケーション

アドレス クリエ用

概要

名前、住所、電話番号などのアドレス情報を管理できます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

日程や予定を管理する

使用するアプリケーション

予定表 クリエ用

概要

会議や出張など、さまざまな予定を効率よく管理できます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

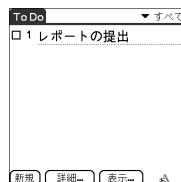
処理する仕事や用事を管理する

使用するアプリケーション

To Do（トゥー ドゥー） クリエ用

概要

しなければならない仕事や忘れると困る用事を一覧で表示したり、買い物リストなどとして使うことのできるアプリケーションです。仕事や用事に優先度をつけて表示することもできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

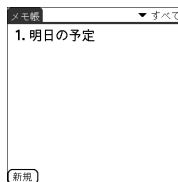
メモをとる

使用するアプリケーション

メモ帳 クリエ用

概要

簡単なメモをとったり、パソコンで作成した文書ファイルを本機で表示したりできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

手書きメモをとる

使用するアプリケーション

CLIE Memo（クリエ メモ） クリエ用

概要

クリエで手書きメモをとるためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

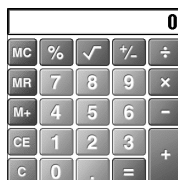
計算機として使う

使用するアプリケーション

電卓 クリエ用

概要

基本的な計算ができます。数値を電卓メモリに保存したり、メモリから呼び出したりできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

辞書を引く

使用するアプリケーション

辞書 クリエ用

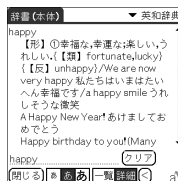
概要

辞書データを利用して、単語の意味や英単語などを調べることができます。

ご使用にあたり： インストール済み

辞書データは **インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー

[クリエ基本ソフトウェア]

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

通信カードでインターネットに接続する

使用するアプリケーション

CF Utility（シーエフ ユーティリティ） クリエ用

概要

本機の通信用カードスロットに挿入した通信カード（別売り）の状態を表示します。DDI ポケットの通信機能内蔵 CF 型カード（CFE-01、CFE-02）をお使いの場合は、DDI ポケット専用プロバイダの PRIN を使ってメールの自動受信の設定ができます。

Docomo（P-in comp@ct, P-in m@ster）をお使いの場合は、ホームアンテナ設定ができます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

メールをやり取りする

使用するアプリケーション

CLIE Mail（クリエ メール） クリエ用

概要

クリエ用の電子メールアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

ホームページを見る

使用するアプリケーション

NetFront 3.0 for CLIE（ネットフロント フォー クリエ） クリエ用

キーワード

ホームページ、インターネット、WWW ブラウザ

概要

クリエ用のホームページ閲覧アプリケーションです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

リモコンとして使う

使用するアプリケーション

クリエ　リモート　コマンダー
CLIE Remote Commander クリエ用

キーワード

赤外線通信

概要

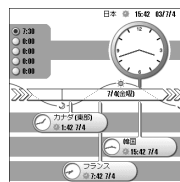
クリエをリモコンとして使うためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

世界時計を表示する

使用するアプリケーション

ワールド　アラーム　クロック
World Alarm Clock クリエ用

概要

世界の時刻を表示します。アラーム時計としても使うことができます。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

テレビの番組表を見る

使用するアプリケーション

ティービースケープ
TVscape クリエ用

概要

テレビ番組表をクリエで見るためのアプリケーションです。
番組情報サイト「テレビ王国」（http://www.so-net.ne.jp/tv/）で提供される番組表や内容紹介をクリエで見ることができます。

ご使用にあたり： インストールが必要です　パソコンとの連携が必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

地図を持ち出す

使用するアプリケーション

Navin' You Pocket（ナビン ユー ポケット） クリエ用

キーワード

地図、ポイントデータ、GPS

概要

パソコンで切り出した「Navin' You 専用マップ」地図ディスクのデータをクリエで見るためのアプリケーションです。
地図データは付属の MapCutter Ver.2.1 を使ってパソコンで切り出し、"メモリースティック"経由でクリエに転送します。

ご注意

メモリースティック GPS モジュールをお使いの際には GPS モジュール付属の CD-ROM ではなく、本クリエに付属する CD-ROM から Navin' You Pocket Ver.2.2 および MapCutter Ver.2.1 をインストールしてご使用ください。

ご使用にあたり： インストールが必要です　パソコンとの連携が必要です

"メモリースティック"が必要です（64MB 以上推奨）

インストール CD-ROM のメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンで地図を切り出してクリエに送る

使用するアプリケーション

MapCutter（マップカッター） PC用

キーワード

地図、ポイントデータ

概要

クリエの Navin' You Pocket で使用する地図データを"メモリースティック"に切り出します。

ご注意

本機に付属する地図データはサンプル版です。
お使いになる際は、ゼンリン社製「Navin' You 専用マップ」（ゼンリン社 URL：http://www.zenrin.co.jp/）をお買い上げください。

ご使用にあたり： インストールが必要です

"メモリースティック"が必要です（64MB 以上推奨）

インストール CD-ROM のメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエと“メモリースティック”とでデータをやり取りする

使用するアプリケーション

クリエ　ファイルズ
CLIE Files クリエ用

概要

クリエに挿入した“メモリースティック”とクリエ本体の間や、“メモリースティック”内でデータをやり取り（コピー、移動、削除）するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

“メモリースティック”にバックアップをとる

使用するアプリケーション

メモリー　スティック　バックアップ
Memory Stick Backup クリエ用

概要

アプリケーションやデータをまとめて“メモリースティック”にバックアップできます。

ご使用にあたり： インストール済み “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンからクリエの“メモリースティック”を利用する

使用するアプリケーション

メモリー　スティック　インポート
Memory Stick Import クリエ用

メモリー　スティック　エクスポート
Memory Stick Export PC用

概要

クリエに挿入した“メモリースティック”に、パソコンから HotSync を使わずにアプリケーションをインストールしたり、データをコピーすることができます。

ご使用にあたり： “メモリースティック”が必要です

Memory Stick Import： インストール済み

Memory Stick Export： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

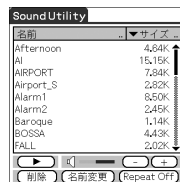
好みの音を鳴らす

使用するアプリケーション

サウンド　ユーティリティー
Sound Utility クリエ用

概要

Sound Converter 2 で変換した音声データを、パソコンから HotSync でクリエに転送して、アラーム音として管理するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み　パソコンとの連携が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエに音声データを送る

使用するアプリケーション

サウンド　コンバーター
Sound Converter 2 PC用

キーワード

WAVE（PCM）形式、MIDI（Standard MIDI File Format 0/1）形式

概要

パソコン上の WAVE 形式、または MIDI 形式の音声データをクリエ用に変換するソフトウェアです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンで作成したドキュメントを閲覧する

使用するアプリケーション

ピクセル　ビューワー　フォー　クリエ
Picsel Viewer for CLIE クリエ用

キーワード

doc 形式、xls 形式、ppt 形式、txt 形式、JPEG 形式、GIF 形式、PNG 形式、BMP 形式、PDF 形式、HTML 形式、MHTML 形式

概要

Microsoft Word/Excel などパソコンで作成したドキュメントを、クリエで閲覧するアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストールが必要です　“メモリースティック”が必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Microsoft® Outlookとデータをやり取りする

使用するアプリケーション

概要

Microsoft Outlookのデータを、クリエの「予定表」や「アドレス」、「To Do」などと連携するためのソフトウェアです。

ご使用にあたり： **インストールが必要です** **パソコンとの連携が必要です**

インストールCD-ROMのメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」および「Intellisync Lite for Sony CLIE」のヘルプをご覧ください。

クリエで電子書籍を閲覧する

使用するアプリケーション

PooK（プーク） クリエ用

キーワード

dotBook形式、PooDOC形式、Doc形式、テキスト形式

概要

PooDOC形式の他、一般的なDocやテキスト形式にも対応している電子書籍閲覧用のアプリケーションです。

ご使用にあたり： **インストールが必要です**

インストールCD-ROMのメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Edyカードの残額を確認する

使用するアプリケーション

Edy Viewer（エディ ビューワー） クリエ用

概要

Edyカード（Edyロゴが付いているカード）の残額などの情報を確認します。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

IC カード乗車券の残額を確認する

使用するアプリケーション

SFCard（エスエフカード） Viewer（ビューワー） クリエ用

概要

IC カード乗車券（JR 東日本「Suica（スイカ）*」）の残額などの情報を確認します。

* Suica イオカード（Suica 定期券のイオカード機能）を含みます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

デジタルカメラをリモコン操作する

使用するアプリケーション

Remote（リモート） Camera（カメラ） クリエ用

概要

Bluetooth 搭載のデジタルカメラ（Sony DSC-FX77）を、本機でリモコン操作します。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー

［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

困ったときは

本機を使っていてわからなかったり、トラブルが発生したときの対処の方法を説明しています。

トラブルが起こる前に

バックアップのおすすめ

予期しないトラブルが起きたときのために、こまめにデータの複製を取っておくこと(バックアップ)をおすすめします。万一、クリエを初期状態に戻す必要のあるトラブルが起きたときでも、常にバックアップをしておくことで、クリエを最後にバックアップした状態へ復帰させることができます。

「Memory Stick Backup」によるバックアップ

付属の「Memory Stick Backup」を使って"メモリースティック"へバックアップすることができます。クリエと"メモリースティック"だけで簡単にバックアップできる便利な方法です。

➡**"メモリースティック"(別売)が必要です。**
詳しくは、別冊「クリエ読本」の「クリエのデータをバックアップする」をご覧ください。

HotSync によるバックアップ

HotSync を行うたびに、クリエ本体のデータはパソコンにバックアップされます。ハードリセットなどによってクリエ本体内のデータが失われても、HotSync することでバックアップしたデータが復帰します。

ただし、以下のアプリケーション/データは HotSync ではバックアップされません。

- 赤外線通信または"メモリースティック"から転送したアプリケーション/データ
- 追加でインストールした一部のアプリケーションやドライバー、アプリケーションの一部のデータ

バックアップできないアプリケーションに関しては、各アプリケーションの取扱説明書に記載されています。

完全なバックアップをとりたいときは、「Memory Stick Backup」をお使いください。

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順 1 別冊「困ったときは Q&A」や各アプリケーションのマニュアルで調べる

- 別冊の「困ったときは Q&A」をよくお読みください。
- この冊子やパソコンのデスクトップ上にある[クリエ マニュアル PEG-NZ90]アイコンをダブルクリックしてアプリケーションの情報を確認してください。

手順 2 ホームページの「カスタマーサポート」で調べる

ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ(http://www.nccl.sony.co.jp/)では、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報のほか、最新プログラムのダウンロード提供や、周辺機器との接続情報などを掲載しています。パソコンのデスクトップ上の[クリエ 困ったときには PEG-NZ90]アイコンをダブルクリックしてください。

手順 3 それでもトラブルが解決しないときは

次ページをご覧の上、それぞれのお問い合わせ先またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

Palm OS 用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれら他社製のアプリケーションについて動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。
他社製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

お問い合わせ先

PooK に関して：

最新情報
http://www.architump.com/
サポート情報（メールでお問い合わせください）
support@architump.com

Intellisync Lite for Sony CLIE に関して：

サポート情報
http://www.pumatech.co.jp/clie/

ATOK に関して：

ATOK ユーザーズページ
（Palm 機器で ATOK をお使いのユーザー様向けに、役立つ情報をご提供しています）
http://support.justsystem.co.jp/

クリエ本体と上記以外のアプリケーションに関して：
ネットコミュニケーションカスタマーリンク

電話番号　（0466）30-3080
受付時間
平日　10 時〜 18 時（年末年始は除く）
土、日、祝日は受け付けしておりません
* 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

①お客様の「お客様サポート番号（16 桁）」、「カスタマーID（13 桁）」のいずれか
　お買い上げ後、オンラインもしくは下記ソニーカスタマー専用デスクにてカスタマー登録してください。
　●ソニーカスタマー専用デスク
　　電話番号（0466）38-1410
②本機の型名：本機背面または、保証書に記載されています
③カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
④本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名
⑤表示されたエラーメッセージ
⑥トラブルが発生する前または直前に行った操作
⑦トラブルがどのくらいの頻度で再現するか
⑧その他お気づきの点

修理の場合は

⑨筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

ネットコミュニケーションカスタマーリンクをご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号（16 桁）」、「カスタマーID（13 桁）」のいずれかが必要になります。

お買い上げ後、カスタマー登録されることをおすすめいたします。
カスタマー登録は、オンラインによるご登録、もしくはソニーカスタマー専用デスクにお問い合わせください。

➡ **詳しくは、この冊子の裏表紙をご覧ください。**

その他の情報

使用上のご注意

取り扱いについて

本機の取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- 本機の画面および Graffiti 入力エリアに傷をつけないようにしてください。画面をタップするときは、付属のスタイラスまたは先端がプラスチックのペンを使用してください。
  故障の原因となりますので、通常のペンや鉛筆、その他の突起物は絶対に使用しないでください。
- 本機を雨または湿気にさらさないでください。ボタンやスイッチの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因になります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。また、本機をズボンのポケットに入れないでください。
  画面のガラスが割れることがあります。
- 本機を以下のような場所に放置しないでください。故障の原因となります。
- 極端な高温または低温の場所
  特に、炎天下で自動車のダッシュボードの上や、ヒーターなどの暖房機器の近くにはご注意ください。
- 極端にほこりが多い場所
- 湿度が高い場所やぬれた場所
- クレードル底部のゴム足は、汚れにより密着性能が低下することがあります。密着性能が低下した場合は、水拭きをすると回復します。

本機のお手入れ

- 本機のお手入れの際は、乾いた布を使用して軽く拭き取ってください。
- カメラのレンズにごみや指紋などがついたときは、柔らかい綿棒などで取り除いてください。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約 1 時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま影響すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

バッテリ充電についてのご注意

バッテリの充電時間について

- バッテリが完全に空のときは、充電に約 4 時間かかります。
- 本機を毎日充電している場合は、1 回の充電にかかる時間を短くすることができます。
- 充電を実行している間も、本機に入力した情報を見たりすることができます。

フル充電したときの使用時間のめやす

使用時間はご利用環境、ご利用条件および利用するアプリケーションによって異なります。

➡**詳しくは、**121 ページからの「主な仕様」をご覧ください。

バッテリを節約するには

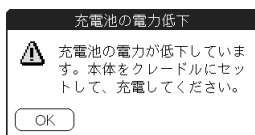
- 明るい場所では、バックライト機能を使用しないようにします。
  ➡**バックライト機能の入／切について詳しくは、**「POWER スイッチ」(37 ページ)をご覧ください。
- 一定の時間放置すると自動的に電源が切れる[自動オフまでの時間]の設定時間を短くします。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定):自動電源オフまでの時間を設定する」をご覧ください。

周辺機器ご使用時のご注意

周辺機器を使用中に「充電池の電力低下」の警告が表示された場合は、すみやかにご使用を中止してクリエ本体を充電してください。そのまま使用し続けると、クリエ本体内のデータが失われる場合があります。

次のページにつづく

バッテリ残量が少なくなると

- バッテリの残量が少なくなると、画面に下のような警告メッセージが表示され、“メモリースティック”の操作や液晶画面の輝度調整ができなくなります。

  HotSync を実行して本機内のデータをパソコンにバックアップしてください。同時に本機を充電することによって、誤ってデータが消去されることを防止できます。
- POWER スイッチをスライドさせても電源が入らないときには、すぐに充電を開始してください。
- 充電量とバッテリ残量表示は必ずしも一致しません。余裕を持って充電するようにしてください。
- バッテリ残量が 0 になった場合は、すみやかにクレードル上で充電を開始するか、充電されたバッテリと交換してください。

バッテリ残量が 0 のまま放置しないでください

バッテリ残量が 0 の状態（液晶画面のバッテリ残量表示が の状態）が続くと、本機内のデータが消去されます。本機はこまめに充電してお使いになることをおすすめします。

その他

- 長時間電源を入れたままにしておくと、本体があたたかくなりますが故障ではありません。
- 本機は、通信カードアダプターには対応しておりません。接続する周辺機器などの故障のおそれがありますのでご使用にならないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 3 か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は 1 年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この冊子をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)へご連絡ください

ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)については、添付の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルエンターテインメントオーガナイザーの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは添付の「クリエサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、記録媒体のプログラムおよびデータは、HotSync などでお客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、本体および"メモリースティック"内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社ではパーソナルエンターテインメントオーガナイザーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください

型名および製造番号は、本体背面または保証書に記載されています。

- **型名:**PEG-NZ90
- **製造番号:**
- **故障の状態:できるだけ詳しく**
- **購入年月日:**
- **「お客様サポート番号(16桁)」、「カスタマーID(13桁)」のいずれか**

主な仕様

本体

OS
日本語版 Palm OS® 5 (Ver. 5.0)

CPU
PXA250 200MHz

メモリ
16M バイト（RAM）
ユーザー使用可能領域：約 11M バイト

インターフェース
インターフェースコネクタ
赤外線（IrDA（1.2））
リモコン LED
Bluetooth
“メモリースティック”スロット
通信用カードスロット（コンパクトフラッシュカード Type II）
FeliCa リーダー

ディスプレイ
バックライト搭載半透過型 TFT カラー液晶ディスプレイ、320 × 480 ドット、65,536 色表示

その他の機能
FM 音源、16 和音
IMA ADPCM（monaural）
モノラルスピーカー
モノラルマイクロフォン

外形寸法（最大突起含まず）
約 75 × 141 × 22.2mm

質量
本体 約 293g
（付属スタイラス、電池含む）

推奨動作温度
5℃ ～ 35℃

オーディオ再生周波数特性
20 Hz ～ 20,000 Hz

再生信号圧縮方式
ATRAC3 方式、
MP3 方式（～ 320 kbps）

再生サンプリング周波数
44.1 kHz

出力端子
ヘッドホン・ステレオミニジャック

音声録音／再生フォーマット
IMA ADPCM（1ch、4 bit）
SP モード（22kHz）
LP モード（8kHz）

最大録音時間
ATRAC3 方式：
128M バイトの“マジックゲートメモリースティック”使用時
約 120 分（ビットレート 132 kbps）
約 160 分（ビットレート 105 kbps）
約 240 分（ビットレート 66 kbps）
MP3 方式：
128M バイトの“メモリースティック”使用時
約 65 分（ビットレート 256 kbps）
約 170 分（ビットレート 96 kbps）
約 130 分（ビットレート 128 kbps）

次のページにつづく

最大音声録音時間

128Mバイトの“メモリースティック”使用時

SPモード:約190分

LPモード:約520分

電源

付属ACパワーアダプター:

DC5.2V(専用コネクタ)

(付属電源コードはAC100V用)

バッテリ:

スマートリチウムバッテリパック(1,200mAh)

電池持続時間

PIM動作時:

10日

(バックライトオフで、1日30分間、「予定表」など、PIMアプリケーションを使用した場合)

6日

(バックライトオンで、1日30分間、「予定表」など、PIMアプリケーションを使用した場合)

静止画カメラ連続撮影:

約1時間

(バックライト最小で、フラッシュオフ、VGAサイズ、ノーマルモードで撮影した場合)

オーディオ連続再生時:

約4時間

(HOLDスイッチをHOLD状態にして、音楽を再生した場合)

約2.5時間

(HOLDスイッチを解除にして、バックライトを標準にした状態で音楽を再生した場合)

動画連続記録時:

約1時間

(HOLDスイッチを解除にして、バックライトを最小で動画を記録した場合)

動画連続再生時:

約3時間

(バックライトオフで、動画を再生した場合)

約2時間

(バックライトオンで、動画を再生した場合)

音声連続記録時:

約6時間

(HOLDスイッチをHOLD状態にして、音声を記録した場合)

約2.5時間

(HOLDスイッチを解除にして、音声を記録した場合)

連続データ通信時:

約2.5時間

(PEGA-WL100使用時)

* 使用温度、使用状態により電池持続時間は異なります。

カメラ仕様

有効画素数

約 200 万画素

撮像素子

1/2.7 インチ　インターレススキャン方式 CCD イメージセンサー（総画素数 211 万画素）

レンズ

F2.8/ 焦点距離 f=5mm（35mm フィルム換算 f= 約 33mm）

合焦範囲

AF=0.1 m ～∞

フラッシュ推奨距離

0.5 ～ 1.5m

カメラファインダー

本体のディスプレイ上で
静止画：320 × 240 ドット
動画：320 × 224 ドット

その他

ホワイトバランス：
オート、太陽光、曇天、電球、蛍光灯
エフェクト：
なし／モノトーン／セピア
露出補正：
± 2EV、1/3EV ステップ
フラッシュモード：
オート／強制発行／発光禁止、
赤目軽減 ON ／ OFF
セルフタイマー：
10 秒（静止画撮影時のみ）

画像サイズ（撮影時）

静止画：1600 × 1200、
1600 × 1072（3:2）、
1280 × 960、800 × 600、
640 × 480、320 × 480（縦）、
320 × 240 ドット
動画：160 × 112 ドット

フォーマット（撮影時）

静止画：JPEG（DCF）形式
動画：Movie Player 形式

画像サイズ（再生時）

本体のディスプレイ上で
静止画：320 × 480、320 × 240、
160 × 120 ドット
動画：426 × 320、320 × 240、
160 × 112 ドット

フォーマット（再生時）

静止画：JPEG（DCF）形式
動画：Movie Player 形式、
MPEG Movie 形式

最大録画時間（動画撮影時）

128M バイトの“メモリースティック”使用時（ただし、1 回の連続撮影は最大約 60 分まで）
V:192/A:32kbps：約 70 分
V:96/A:32kbps：約 120 分

次のページにつづく

最大記録枚数（静止画撮影時）

128M バイトの“メモリースティック”使用時（スタンダードモード時）
1600 × 1200 ドット：約 300 枚
1600 × 1072 ドット（3:2）：約 340 枚
1280 × 960 ドット：約 400 枚
800 × 600 ドット：約 1,000 枚
640 × 480 ドット：約 1,600 枚
320 × 480 ドット：約 2,800 枚
320 × 240 ドット：約 4,000 枚

動作確認済みカード

- P-in Comp@ct
- P-in M@ster
- C@rd H"64
（NEC インフロンティア CFE-01、CFE-01/TD）
- Air H" card
（NEC インフロンティア CFE-02、AH-N401C、本多エレクトロン AH-H401C、TDK RH2000P）
- モデムカード
（TDK DF56CF、Billionton CF56R-BJ、加賀電子 iTAX-56K）
- ワイヤレス LAN カード
（Sony PEGA-WL100）

ヒント

最新の動作確認済みカードについては、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
http://www.nccl.sony.co.jp/

プリンター対応機種

EPSON 社製
- PM-730C
- PM-740C
- PM-830C
- PM-840C
- PM-870C
- PM-890C
- PM-3700C

ヒント

最新の対応機種詳細については、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご参照ください。
http://www.nccl.sony.co.jp

Bluetooth 機能の仕様

通信方式

Bluetooth 標準規格 Ver.1.1

出力

Bluetooth 標準規格
Power Class 2

通信距離 1)

見通し距離 約 10 m

対応 Bluetooth プロファイル 2)

Serial Port Profile
Dial-up Networking Profile
LAN Access Profile
Object Push Profile
Basic Imaging Profile

使用周波数帯

2.4 GHz 帯
（2.400 GHz - 2.4835 GHz）

1) 通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより変化します。

2) Bluetooth 対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth 標準規格で定められています。

パソコンに必要なシステム構成

CLIE Palm Desktop ソフトウェアおよび、付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- OS：Microsoft Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
- CPU：Pentium Ⅱ 400MHz 以上（Pentium Ⅲ 500MHz 以上推奨）
- RAM：96MB 以上（128MB 以上推奨、ただし Windows XP の場合は 256MB 以上推奨）
- ハードディスクドライブ：200MB（350MB 以上推奨）
- ディスプレイ：High Color 以上、800 × 600 ドット以上を推奨
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- マウスかトラックパッドなどのポインティングデバイス

仕様および外観は、改良の為予告なく変更することがありますがご了承ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

A

B

C

E

その他の情報

次のページにつづく

索引（つづき）

G

H

I

M

N

P

R

S

T

U

V

W

この説明書は、本文に無塩素漂白紙の 100%古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

最新サポート情報は

クリエ本体とクリエ用周辺機器、および付属のソフトウェアに関する最新情報は、
ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
また、クリエ用周辺機器をお使いになる場合は、下記サイトのダウンロードページから
最新のソフトウェアを入手してください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● **http://www.nccl.sony.co.jp/ ➡ 機種ごとのサポート情報へ**

付属の冊子もあわせてご覧ください。
「クリエ サービス・サポートのご案内」
「困ったときは Q&A」

クリエのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。
● **http://www.sony.jp/CLIE/**

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは
ネットコミュニケーションカスタマーリンクへ
● **0466-30-3080**

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
ソニーカスタマー専用デスクへ
● **0466-38-1410**

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/